



6月22日(木) A会場(パシフィコ横浜ノース 1F G7+G8)

8:30~10:30 会長企画シンポジウム1

統合失調症における抗精神病薬誘発性ドパミン過感受性精神病の克服

司会：伊豫 雅臣 千葉大学大学院医学研究院精神医学／千葉大学社会精神保健教育研究センター

PS1-1 Antipsychotic-induced dopamine supersensitivity and what to do about it: Lessons from rats

○Anne-Noël Samaha

Department of Pharmacology & Physiology – Faculty of Medicine – University of Montreal



PS1-2 Current and future status of dopamine supersensitivity psychosis in the treatment of schizophrenia

○David Taylor

King's College London



PS1-3 統合失調症におけるドパミン過感受性・ドパミン過感受性精神病

○金原 信久

千葉大学社会精神保健教育研究センター



PS1-4 ドパミン過感受性精神病の治療戦略と戦術

○新津 富央

千葉大学大学院医学研究院精神医学



10:45~12:45 シンポジウム8

気分障害の睡眠 up-to-date – 病態理解から診断・治療法開発へ –

司会：栗山 健一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系

S8-1 気分障害と睡眠の関連 – 臨床・疫学研究のoverview –

○鈴木 正泰、斎藤 かおり、金子 宜之、久保 英之

日本大学医学部精神医学系

S8-2 ストレス抵抗性における睡眠の役割に関するマウス研究

○林 悠^{1,2}

¹東京大学大学院理学系研究科、²筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIIS)

S8-3 うつ病における睡眠脳波バイオマーカーの可能性：これまでの検討

○木村 昌由美
筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

S8-4 気分障害の治療ターゲットとしての睡眠・概日リズム異常

○吉池 卓也
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

S8-5 睡眠に着目した気分障害診療：リエゾン精神医学の視点から

○西村 勝治
東京女子医科大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系
〈サブコーディネーター〉 栗山 健一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:15～14:15 先達に聴く

司会：佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部

PM 児童精神科臨床の展望 ～初期研修段階での経験とその後の児童精神科医としての歩みから～

○齊藤 万比古^{1,2}
¹恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科、
²恩賜財団母子愛育会愛育研究所愛育相談所



14:15～15:15 会長講演

司会：久住 一郎 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

PL 応機展開の精神医学とその底流

○伊豫 雅臣^{1,2}
¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、
²千葉大学社会精神保健教育研究センター





15:30～16:30 特別講演2

司会：中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学

SL2 The Maudsley Model of Anorexia Nervosa for Adults: Development, Evidence and New Directions

○Ulrike Schmidt

Eating Disorders Group, Institute of Psychiatry, Psychology and Neuroscience, King's College London, London, UK



16:45～18:45 シンポジウム36

課題解決型高度医療人材養成(精神領域)のこれから－産業保健との関連から－

司会：清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どものこころの発達教育研究センター
笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学講座

S36-1 精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成(PsySEPTA)の取り組みと今後の展望

○渡部 衣美¹、根本 清貴²、山川 百合子³、繁田 雅弘⁴、太刀川 弘和²、新井 哲明²

¹筑波大学附属病院精神神経科、²筑波大学医学医療系精神医学、³茨城県立医療大学、

⁴東京慈恵会医科大学精神医学講座

S36-2 「メンタルサポート医療人とプロの連携養成」とデジタルメンタルヘルスのこれから

○清水 栄司

千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どものこころの発達教育研究センター

S36-3 医学領域のダイバーシティとインクルージョンに向けて－医学のダイバーシティ教育研究センターの取り組み－

○里村 嘉弘¹、金原 明子^{1,2}、宮本 有紀^{1,3}、大島 紀人⁴、熊谷 晋一郎^{5,6}、佐々木 理恵²、宇野 晃人²、熊倉 陽介²、柳下 祥⁷、笠井 清登^{1,2}

¹東京大学大学院医学系研究科医学のダイバーシティ教育研究センター、

²東京大学医学部附属病院精神神経科、³東京大学大学院医学系研究科・精神看護学分野、

⁴東京大学相談支援研究開発センター、⁵東京大学先端科学技術研究センター、

⁶東京大学バリアフリー支援室、⁷東京大学大学院医学系研究科・構造生理学部門

S36-4 京都大学 ASD projectの歩みと今後の展望

○義村 さや香、十一 元三

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座

〈メインコーディネーター〉 清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どものこころの発達教育研究センター

〈サブコーディネーター〉 笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学講座

6月22日(木) B会場(パシフィコ横浜ノース 1F G5)

8:30～10:30 委員会シンポジウム1 (児童精神科医療委員会)

ICD-11/DSM-5-TRから児童青年期精神医学の診断の近未来を考える

司会：岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部
今村 明 長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

CS1-1 知的能力障害あるいは知的発達症の診断概念の変遷とこれから

○岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

CS1-2 児童青年期精神医学におけるDSM-5-TRとICD-11のハーモニゼーションと 溶融できなかったもの

○齊藤 卓弥

北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門

CS1-3 複雑性PTSD、持続性複雑死別障害をはじめとする、トラウマ関連障害の新潮流

○林 みづ穂

仙台市精神保健福祉総合センター

CS1-4 回避制限性食物摂取症を含めた児童青年期の摂食障害

○中土井 芳弘

独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター児童精神科

CS1-5 性別違和あるいは性別不適合と精神科診断における位置づけをめぐる課題

○本多 奈美

東北大学大学院教育学研究科教育心理学講座臨床心理学分野

〔指定発言〕

○今村 明

長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

〔指定発言〕

○齊藤 まなぶ

弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域

〈メインコーディネーター〉 今村 明

長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

〈サブコーディネーター〉 岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
知的・発達障害研究部

松本 英夫

医療法人丹沢病院



10:45～11:45 **教育講演1**

司会：井上 猛 東京医科大学精神医学分野東京医科大学病院メンタルヘルス科

EL1 うつ病、不安症、慢性疼痛の認知行動療法とイメージの書き直し技法

○清水 栄司

千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どものこころの発達教育研究センター



11:45～12:45 **教育講演2**

司会：加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック

EL2 子ども虐待はなぜ起きるのか：行動神経科学から見た親支援の必要性

○黒田 公美

理化学研究所



13:15～14:15 **特別講演1**

司会：中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター理事

SL1 **The Maudsley Prescribing Guidelines**

○David Taylor

Director of Pharmacy and Pathology at the Maudsley Hospital and Professor of Psychopharmacology at King's College, London, UK. Editor-in-Chief of the journal Therapeutic Advances in Psychopharmacology



14:15～15:15 **教育講演3**

司会：仙波 純一 東京愛成会たかつきクリニック

EL3 **日本精神神経学会におけるCOI申告の実際：総論から各論まで**

○稲垣 中^{1,2}

¹青山学院大学教育人間科学部、²青山学院大学保健管理センター



15:30～17:30 シンポジウム25

向精神薬と自動車運転 —エビデンスの医療への実装、そして課題—

司会：吉村 玲児 産業医科大学精神医学
岩本 邦弘 名古屋大学精神科

S25-1 「向精神薬が自動車の運転技能に及ぼす影響の評価方法に関するガイドライン」の作成背景について

○中林 哲夫
独)医薬品医療機器総合機構

S25-2 抗てんかん薬の運転への影響—driving simulatorによるエビデンスの蓄積を中心に

○兼本 浩祐、佐治 木萌
愛知医科大学精神神経科

S25-3 統合失調症患者の自動車運転

○小西 勇輝
産業医科大学精神医学教室

S25-4 fNIRSを用いたドライビングシュミレーターにおける気分障害の脳機能

○岡井 公志
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S25-5 向精神薬服用中の就労者の自動車運転における課題

○池ノ内 篤子
産業医科大学精神医学教室、認知症センター

〔指定発言〕

○岩本 邦弘
名古屋大学精神科

〈メインコーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
〈サブコーディネーター〉 中林 哲夫 独) 医薬品医療機器総合機構研究支援・推進部
岩本 邦弘 名古屋大学精神科



6月22日(木) C会場(パシフィコ横浜ノース 1F G6)

8:30~10:30 シンポジウム1

日常診療で、大人の発達障害を理解し支援する

司会：青木 省三 公益財団法人慈圭会精神医学研究所
武井 明 市立旭川病院精神科

S1-1 大人の発達障害をどう理解するか

○武井 明
市立旭川病院精神科

S1-2 不安抑うつをどう支援するか

○宮崎 健祐
一般財団法人愛成会弘前愛成会病院精神科

S1-3 依存症をどう支援するか

○小林 桜児
神奈川県立精神医療センター精神科

S1-4 発達障害と精神病症状

○鷺田 健二
公益財団法人慈圭会慈圭病院

S1-5 大人の発達障害をどう支援するか

○村上 伸治
川崎医科大学精神科学教室

〈メインコーディネーター〉 青木 省三 公益財団法人慈圭会精神医学研究所
〈サブコーディネーター〉 武井 明 市立旭川病院精神科

10:45~12:45 シンポジウム9

アルコール使用障害患者を日常診療で診るために：非専門の医療スタッフでも使える短時間の簡易アプローチ

司会：齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院精神医学研究所
宮田 久嗣 東京慈恵会医科大学精神医学講座

S9-1 SNAPPYプログラム ～アルコール使用障害に対するWEB上の介入ツール～

○角南 隆史
佐賀県医療センター好生館

S9-2 専門家でなくてもできる、減酒のための介入プログラム～ABCDプログラム～

○真栄里 仁¹、河合 麻衣子³、櫻井 純子⁴、角南 隆史²、白坂 知彦⁵、手塚 幸雄⁶、
長嶺 紘⁷、湯本 洋介¹、吉本 尚¹⁰、足達 淑子⁹、杠 岳文⁸

¹独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター教育情報部、²佐賀県医療センター好生館、

³東京女子医科大学病院、⁴湘南鎌倉医療大学、⁵稲沢仁会病院、⁶沖縄リハビリテーションセンター病院、

⁷トヨタ自動車株式会社、⁸独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、

⁹あだち健康行動学研究所、¹⁰筑波大学医学医療系地域総合診療医学

S9-3 外来診療を継続してもらおうコツ

○齋藤 利和
社会医療法人博友会平岸病院

S9-4 MI(動機づけ面接)超入門～患者さんのやる気を引き出す面接
～答えは患者さんが持っている！～

○小松 知己
沖縄協同病院

S9-5 SBIRTS：外来治療を受けている患者を自助グループに参加させるための技法

○白坂 知彦、常田 深雪
医療法人溪仁会手稲溪仁会病院精神保健科

〔指定発言〕

○杠 岳文
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 白坂 知彦 医療法人溪仁会手稲溪仁会病院精神保健科
〈サブコーディネーター〉 齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院精神医学研究所
宮田 久嗣 東京慈恵会医科大学精神医学講座

13:15～15:15 シンポジウム17

神経発達症の感覚現象と実践的な支援

司会：小坂 浩隆 福井大学医学部精神医学
松永 寿人 兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

S17-1 聴覚科学からみた聴覚過敏

○土屋 賢治^{1,2}
¹浜松医科大学子どもこのころの発達研究センター、²大阪大学大学院連合小児発達学研究所

S17-2 自閉スペクトラム症者への嗅覚特性を考慮した支援

○熊崎 博一
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科未来メンタルヘルス学分野

S17-3 ASDの非定型的な触覚の特徴と社会性の関連

○福岡 彩加¹、北田 亮²、牧田 快²、牧野 拓也¹、小坂 浩隆¹
¹福井大学医学部精神医学、²神戸大学国際文化学研究所

S17-4 強迫症(OCD)患者に見る感覚特性～チック関連OCDを中心に～

○松永 寿人
兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

S17-5 産業精神医学における神経発達症の感覚特性支援

○今村 明
長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部



〔指定発言〕

○中村 和彦

弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学

〈サブコーディネーター〉 中村 和彦

弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

松永 寿人

兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

15:30～17:30 シンポジウム26

一人からでも始められる物質使用障害の治療～その多様な実践から～

司会：松本 俊彦

成瀬 暢也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

埼玉県立精神医療センター精神科

S26-1 クリニックにおける物質使用障害に対するブリーフセラピー

○山下 悠毅

医療法人社団LIFEライフサポートクリニック

S26-2 ゼロから始めた物質使用障害の治療

○栗田 晋

医療法人優なぎ会雁の巣病院精神科

S26-3 大学病院でできる物質使用障害の治療

○常岡 俊昭

昭和大学附属鳥山病院医学部精神医学講座

S26-4 誰もが物質使用障害の治療にあたるために～茨城ダルクとの連携を中心に～

○小松崎 智恵

茨城県立こころの医療センター医局

S26-5 ゼロからはじめる依存症診療～5年目の「依存症なんでも診ます」部門立ち上げ

○佐久間 寛之

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター精神科

〔指定発言〕

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

〈メインコーディネーター〉 成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター精神科

〈サブコーディネーター〉 松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

薬物依存研究部

6月22日(木) D会場(パシフィコ横浜ノース 3F G303+G304)

8:30～10:30 委員会シンポジウム2 (アンチスティグマ委員会)

精神科医療スタッフとして乖離的スティグマにどう立ち向かったらよいか

司会：金井 玉奈 富士リハビリ病院精神科
小口 芳世 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

CS2-1 精神疾患と糖尿病に関するスティグマ：ミニレビュー

○山口 創生
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

CS2-2 がん診療における乖離的スティグマについて

○松原 敏郎、中川 伸
山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座(精神科神経科)

CS2-3 ピアサポートから学ぶこと

○田中 悟郎
長崎大学医学部保健学科

CS2-4 スティグマへのアクセプタンス&コミットメント・セラピーによるアプローチ

○津田 菜摘
同志社大学心理学部

〔指定発言〕

○小口 芳世
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

〈メインコーディネーター〉 金井 玉奈 富士リハビリ病院精神科
〈サブコーディネーター〉 小口 芳世 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

10:45～12:45 シンポジウム10

精神科の疾患と認知症との病態的関連性Update

司会：朴 秀賢 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座
品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

S10-1 神経発達症と認知症の関係 –主に臨床観察からの考察–

○三村 悠
慶應義塾大学病院精神神経科

S10-2 統合失調症における加齢とは

○中島 振一郎
慶應義塾大学医学部精神神経科



S10-3 うつ病と認知症の病態的関連

○品川 俊一郎
東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

S10-4 てんかんと加齢・認知症：その病態的関連性

○曾根 大地
東京慈恵会医科大学精神医学講座

S10-5 せん妄と認知症の病態的関連

○朴 秀賢
熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科
〈サブコーディネーター〉 中島 振一郎 慶應義塾大学医学部精神神経科

13:15～15:15 **委員会シンポジウム11** (男女共同参画委員会と親子・学校・女性に関する委員会の共催)
周産期の女性を支える精神科診療のあり方

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科
三原 伊保子 医療法人りぼん・りぼん三原デイケア+クリニックりぼん・りぼん

CS11-1 見逃されてきた周産期ボンディング障害

○北村 俊則
北村メンタルヘルス研究所所長

CS11-2 妊婦における妊娠中のメンタルヘルスと子どもの表情に対する認知バイアスの関連について

○田久保 陽司
東邦大学医学部精神神経医学講座

CS11-3 てんかんのある女性における包括的医療 安全な妊娠と出産のために

○原 恵子
原クリニック精神科
〈メインコーディネーター〉 渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科

15:30～17:30 **委員会シンポジウム14** (精神療法委員会)
一般診療に活かす各種精神療法—学派を超えた通院精神療法の在り方—

司会：大野 裕 大野研究所
福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

CS14-1 認知行動療法を一般診療に活かす

○中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

CS14-2 「通院精神療法」をどのように実施するか

○中村 敬
東京慈恵会医科大学森田療法センター

CS14-3 精神分析と精神科外来診療

○池田 暁史
大正大学心理社会学部臨床心理学科

CS14-4 学派を超えた通院精神療法に関する私見－4つのキーワードを基にして

○原田 誠一
原田メンタルクリニック

〔指定発言〕

○藤山 直樹
個人開業

〈メインコーディネーター〉 池田 暁史 大正大学心理社会学部臨床心理学科
〈サブコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学



6月22日(木) E会場(パシフィコ横浜ノース 3F G301+G302)

8:30~10:30 シンポジウム2
今後期待されるうつ病への新規治療法について考える

司会：坪井 貴嗣 杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室
内田 裕之 慶應義塾大学病院

S2-1 ケタミン治療

○櫻井 準
杏林大学医学部精神神経科学教室

S2-2 うつ病治療に対する精神展開剤の最近の見解

○谷 英明
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S2-3 炎症標的新規抗うつ薬

○岩田 正明
鳥取大学医学部精神行動医学分野

S2-4 磁気けいれん療法(MST)

○鬼頭 伸輔
国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

S2-5 新たな認知行動療法で反芻思考に挑む：反芻焦点化認知行動療法

○中川 敦夫
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

〔指定発言〕

○三輪 亜梨紗
ReOPA

〈メインコーディネーター〉 坪井 貴嗣 杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室

10:45~12:45 シンポジウム11
高齢者のうつ病治療Up-to-Date

司会：三村 将 慶應義塾大学精神神経科学教室
馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック

S11-1 高齢者のうつ病の状態評価と基礎的介入

○藤瀬 昇
熊本大学保健センター

S11-2 高齢者のうつ病に対する精神療法

○忽滑谷 和孝、鮫島 大輔
東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科

S11-3 高齢者のうつ病に対する抗うつ薬による薬物療法

○伊賀 淳一
愛媛大学医学部附属病院

S11-4 第一選択薬による治療に成功しない高齢者うつ病に対する薬物療法戦略

○武島 稔^{1,2}
¹明心会柴田病院精神科、²東京医科大学精神医学分野

S11-5 高齢者のうつ病に対するニューロモデュレーション療法

○鬼頭 伸輔
国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

〈メインコーディネーター〉 馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
メンタルクリニック

13:15～15:15 シンポジウム18
慢性疼痛

司会：白井 千恵 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック科
井上 雄一 医療法人社団絹和会睡眠総合ケアクリニック代々木

S18-1 慢性疼痛とパーソナリティ、そして認知機能

○西原 真理
愛知医科大学病院

S18-2 痛覚変調性疼痛

○白井 千恵
順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック科

S18-3 慢性痛診療における精神科医の役割とは —集学的治療の観点から—

○吉野 敦雄^{1,2}
¹広島大学保健管理センター、²広島大学脳・こころ・感性科学研究センター

S18-4 Restless legs症候群(RLS)の治療戦略をめぐって

○井上 雄一^{1,2}
¹東京医科大学睡眠学講座、²医療法人社団絹和会睡眠総合ケアクリニック代々木

S18-5 慢性疼痛と新型／現代型うつ

○加藤 隆弘^{1,2}、藤本 晃嗣^{3,4}、細井 昌子^{2,3,4}
¹九州大学大学院医学研究院精神病態医学、²九州大学病院集学的痛みセンター、
³九州大学大学院医学研究院心身医学、⁴九州大学病院心療内科

〈メインコーディネーター〉 白井 千恵 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック科
〈サブコーディネーター〉 井上 雄一 医療法人社団絹和会睡眠総合ケアクリニック代々木



15:30～17:30 シンポジウム27

コロナ禍における若い世代の摂食障害～発症数の増加とその要因～

司会：西園マーハ 文 明治学院大学心理学部
井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

S27-1 Impact of COVID-19 pandemic：摂食障害全国調査が教えてくれたこと

○井上 建
獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター

S27-2 COVID-19パンデミックによる10代の摂食障害患者の変化と診療の工夫

○原田 朋子
大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

S27-3 COVID-19による在宅時間の増加による摂食障害発症への影響

○吉内 一浩
東京大学医学部附属病院

S27-4 コロナ禍における若年者の摂食障害－精神科病院の場合

○林 公輔¹、金井 希人²、星野 大³、重田 理佐³、西園マーハ 文⁴
¹学習院大学文学部心理学科、²オリブ山病院、³特定医療法人群馬会群馬病院、⁴明治学院大学

〈メインコーディネーター〉 井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学
〈サブコーディネーター〉 西園マーハ 文 明治学院大学心理学部

6月22日(木) F会場(パシフィコ横浜ノース 3F G312+G313)

8:30～10:30 シンポジウム3

ミスマッチ陰性電位の精神疾患におけるバイオマーカー応用

司会：矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S3-1 聴覚シナプス可塑性とミスマッチ陰性電位

○志賀 哲也^{1,2}、上田 由佳²、斎藤 智樹²、丹治 良²、平山 緑香²、羽金 裕也²、森 湧平²、戸田 亘²、落合 晴香²、星野 大²、菅野 和子²、堀越 翔²、三浦 至²、矢部 博興²
¹福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、²福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

S3-2 統合失調症の早期段階におけるtranslatable brain markerとしてのミスマッチ陰性電位

○切原 賢治^{1,2}、多田 真理子^{2,3}、越山 太輔²、藤岡 真生²、白井 香²、西村 亮一²、荒木 剛^{2,4}、國井 尚人⁵、宇賀 貴紀⁶、笠井 清登²
¹東京大学バリアフリー支援室、²東京大学医学部附属病院精神神経科、³東京大学相談支援研究開発センター精神保健支援室、⁴帝京大学医学部附属溝口病院精神科、⁵東京大学医学部附属病院脳神経外科、⁶山梨大学大学院総合研究部医学域基礎医学系生理学講座統合生理学

S3-3 早期サイコーシスにおけるミスマッチ陰性電位を用いた予後予測

○樋口 悠子^{1,2,3}、住吉 太幹^{3,4}、立野 貴大^{1,2}、中島 英^{1,2}、金子 直史^{1,2}、水上 祐子¹、赤崎 有紀子¹、笹林 大樹^{1,2}、高橋 努^{1,2}、辻井 農五⁵、鈴木 道雄^{1,2}
¹富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、²富山大学アイドリッグ脳科学研究センター、³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、⁴国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、⁵富山大学こどものこころと発達診療学講座

S3-4 注意欠如・多動症の薬物療法におけるミスマッチ陰性電位の臨床応用

○太田 豊作
奈良県立医科大学医学部看護学科人間発達学

〈メインコーディネーター〉 矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
志賀 哲也 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

10:45～12:45 Fellowship Award Symposium 1 (国際委員会)

～Roles of psychiatrists in emergency medical services(救急医療における精神科医の役割)～

司会：伊井 俊貴 愛知医科大学病院

FAS1-1

When being a "psychiatric patient" creates a stigma in emergency room - experiences from Poland

○Gniewko Wieckiewicz
Department of Psychiatry, Faculty of Medical Sciences in Zabrze, Medical University of Silesia, Poland



FAS1-2 The role of psychiatrists in treating repeated self-harm at emergency departments

○Wei-Chen Huang

Tsaotun Psychiatric Center, Ministry of Health and Welfare, Taiwan

FAS1-3 Current status of psychiatry in emergency medical services in India: a scoping review

○Ananya Mahapatra

Dr. Baba Saheb Ambedkar Hospital and Medical College, New Delhi, India

FAS1-4 Importance of collaboration between psychiatrists and emergency physicians

○Hidehito Miyazaki

Yokohama City University Medical Center, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院
〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院

13:15~15:15 **Fellowship Award Symposium 2 (国際委員会)**
~Roles of psychiatrists in emergency medical services(救急医療における精神科医の役割)~

司会：青木 藍 国立成育医療センター研究所政策科学研究部

FAS2-1 Improving assessment and care of anxiety in the emergency setting

○Fredrik Wikstrom

Department Molecular Medicine and Surgery, Karolinska Institute / Center for Molecular Medicine, Karolinska University Hospital, Sweden

FAS2-2 Catatonia: The Territory Where Psychiatry Merges Imperceptibly with Emergency Medical Service. A Perspective From Psychiatrist

○Chanatip Tongyonk

Prasimahabodhi Psychiatric Institute, Thailand

FAS2-3 A preliminary survey of roles of psychiatrists in emergency medical services of public hospitals in Indonesia

○Ekachaeryanti Zain

Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan

FAS2-4 Cooperation with Emergency Physicians to Rescue Psychiatric Patients Visiting ER in Japan

○Mizuo Hoshino

Department of Mental Health, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院
〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院

15:30～17:30 **Fellowship Award Symposium 3 (国際委員会)**

～Roles of psychiatrists in emergency medical services(救急医療における精神科医の役割)～

司会：白坂 知彦 手稲溪仁会病院

FAS3-1 Psychiatric Emergency Services in Turkey: Overview, Challenges and Prospects

○Yasin Hasan Balcioglu

Bakirkoy Prof. Mazhar Osman Training and Research Hospital for Psychiatry, Neurology and Neurosurgery, Turkey

FAS3-2 Action, Collaboration and Transformation: Psychiatric Borders in Emergency Medical Services

○Raman Marwaha

Psychiatry, Case Western Reserve University MetroHealth System, U.S.A.

FAS3-3 A Deeper Sight of Collaboration in the Heart of Medicine

○Venus Vatankhah

Psychosomatic Medicine Research Center, Imam Khomeini Hospital, Tehran University of Medical Sciences, Iran

FAS3-4 Psychiatry-related issues in emergency medical services

○Ryo Kawagishi

Chiba Psychiatric Medical Center, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院

〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院



6月22日(木) G会場(パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

8:30~10:30 シンポジウム4

ポスト・コロナ時代における精神医学教育と精神科診療

司会：中川 伸 山口大学医学部精神科神経科
中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S4-1 ポストコロナ時代へ向けた大学におけるデジタル化への模索

○中村 雅之
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

S4-2 COVID-19禍で明らかになった臨床実習の問題点とプリンシパル・エージェント理論に基づいた改善の取り組み

○亀谷 仁郁、宮岸 良彰、坪本 真、内藤 暢茂、佐野 滋彦、奥田 丈士、菊知 充
金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学

S4-3 オンラインを用いた診療ガイドライン講習会

○稲田 健
北里大学医学部精神科学

S4-4 コロナ禍で生きる人々を精神科医として支援する

○大江 美佐里、松岡 美智子、小曾根 基裕
久留米大学医学部精神神経科

〔指定発言〕

○福田 正人
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

〈メインコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
〈サブコーディネーター〉 中川 伸 山口大学医学部精神科神経科

10:45~12:45 シンポジウム12

死別の精神医学

司会：藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神・神経科
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S12-1 死別後症状の精神医学的診断：うつ病、遷延性悲嘆障害

○岡村 優子
国立がん研究センターがん対策研究所支持・サバイバーシップTR研究部

S12-2 死別後うつ病、複雑性悲嘆の治療：遺族ケアガイドラインより

○倉田 明子
広島大学病院精神科／緩和ケアチーム

S12-3 遷延性悲嘆症(PGD)の治療 –PGDTの日本人遺族への導入の課題–

○中島 聡美
武蔵野大学人間科学部

S12-4 遺族のうつ病に対する対人関係療法の応用

○利重 裕子
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

〈メインコーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

13:15～15:15 シンポジウム19

あるがままとマインドフルネスの間—東洋と西洋の精神療法の相違—

司会： 館野 歩 東京慈恵会科大学附属病院精神医学講座
小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神科

S19-1 弁証法的行動療法の特性と展開

○小野 和哉
聖マリアンナ医科大学病院

S19-2 マインドフルネス心理療法の概略と展開

○藤澤 大介
慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神・神経科

S19-3 マインドフル・セルフ・コンパッションの概要と展望

○岸本 早苗
京都大学大学院医学研究科、健康増進・行動学分野

S19-4 森田療法の治療対象、精神病理仮説、介入方法、治療目標

○館野 歩
東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 館野 歩 東京慈恵会科大学附属病院精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神科



15:30~17:30 シンポジウム28

現代のcommon diseaseとしての不安障害～その正常と病的の境界とは

司会：松永 寿人 兵庫医科大学精神科精神科神経科講座
塩入 俊樹 岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

S28-1 現代の不安とcommon diseaseとしてのパニック症・パニック発作

○塩入 俊樹
岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

S28-2 現代のcommon diseaseとしての社交不安症

○朝倉 聡
北海道大学保健センター・大学院医学研究院精神医学教室

S28-3 Common diseaseとしての全般不安症(GAD)

○大坪 天平
東京女子医科大学附属足立医療センター精神科

S28-4 ありふれた精神疾患としてのPTSD

○金 吉晴
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

S28-5 現代のcommon diseaseとしての強迫症～その正常と病的の境界とは

○松永 寿人
兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

〈メインコーディネーター〉 松永 寿人 兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

6月22日(木) H会場(パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

8:30～10:30 シンポジウム5 精神療法と治癒像

司会：新村 秀人 大正大学心理社会学部
北西 憲二 森田療法研究所、北西クリニック

S5-1 「あるがまま」は精神療法の普遍的な治癒像になり得るか？

○田所 重紀
札幌医科大学附属病院

S5-2 フロイト精神分析における治癒像：「死の欲動」を抱えること

○加藤 隆弘
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S5-3 分析心理学における治癒イメージ

○林 公輔
学習院大学文学部心理学科

S5-4 森田療法の治癒像

○新村 秀人^{1,2}
¹大正大学心理社会学部、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

〔指定発言〕

○北西 憲二
森田療法研究所、北西クリニック

〈メインコーディネーター〉 新村 秀人 大正大学心理社会学部
〈サブコーディネーター〉 北西 憲二 森田療法研究所、北西クリニック

10:45～12:45 シンポジウム13

精神疾患におけるヒューマノイドロボットを用いた支援の現状と今後の課題

司会：村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神神経科
松本 吉央 国立研究開発法人産業技術総合研究所

S13-1 発達障害診療におけるロボット支援の可能性

○熊崎 博一
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科未来メンタルヘルス学分野

S13-2 診療支援を目指したコミュニケーションロボットの開発

○吉川 雄一郎
大阪大学大学院基礎工学研究科



S13-3 ひきこもり早期支援のためのコミュニケーションロボットによる診断評価法の開発

○加藤 隆弘
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S13-4 ロボットとの触れ合いや対話を通じたメンタルヘルスサポートへの取り組み

○塩見 昌裕
株式会社国際電気通信基礎技術研究所インタラクシヨ科学研究所

S13-5 発達障害など児童精神疾患に対してのヒューマノイドロボットを用いた支援と子供の発達過程とのかかわり

○宮尾 益知
どんぐり発達クリニック

〔指定発言〕

○寺田 和憲
岐阜大学工学部

〔指定発言〕

○大野 裕
大野研究所

〈メインコーディネーター〉 熊崎 博一 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
未来メンタルヘルス学分野

〈サブコーディネーター〉 加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
吉川 雄一郎 大阪大学大学院基礎工学研究科

13:15～15:15 委員会シンポジウム12 (司法精神医学委員会)

統合失調症事例の刑事精神鑑定

司会：五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門
川崎 弘詔 福岡大学医学部

CS12-1 統合失調症の精神鑑定：典型例のピットフォール

○安藤 久美子
聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

CS12-2 統合失調症に罹患した人の責任能力
－病的体験に影響され自殺目的で放火に至った事例を通じて－

○山口 大樹
東邦大学医学部精神神経医学講座

CS12-3 統合失調症の刑事精神鑑定－供述が変遷したことで「責任能力」が裁判員裁判の争点になった事例－

○赤崎 安昭
鹿児島大学医学部保健学科



6月22日(木) |会場(パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

8:30~10:30 **委員会シンポジウム3** (男女共同参画委員会; 災害支援委員会)
災害における精神症状・心理状態についてのジェンダー観点からの検討

司会：奥山 純子 東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科
高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

CS3-1 長期化したCOVID-19 パンデミックが日本にもたらした心理的影響についての縦断的研究

○門廻 充待¹、奥山 純子²
¹東北大学災害科学国際研究所、²東北大学病院

CS3-2 日本におけるセクシャルマイノリティの方々の災害時の課題

○北村 美和子
東北大学災害科学国際研究所

CS3-3 抑うつ気分やストレス改善のためのスマートフォンアプリを用いた取り組み

○本川 智紀¹、加藤 朋美¹、奥山 純子²、門廻 充待³
¹ポーラ化成工業株式会社、²東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科、
³東北大学災害科学国際研究所

〈メインコーディネーター〉 奥山 純子 東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科
〈サブコーディネーター〉 高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

10:45~12:45 **委員会シンポジウム7** (心理職に関する委員会)
公認心理師法施行5年を振り返って

司会：阿部 恵一郎 あべクリニック
中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

CS7-1 心理職の制度で何が変わったか

○阿部 恵一郎
あべクリニック

CS7-2 誰のための、何のための公認心理師か？

○下山 晴彦
跡見学園女子大学心理学部

CS7-3 大学および大学院における公認心理師を目指す学生への教育の課題

○宮岡 佳子
跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科

CS7-4 公認心理師法施行5年を振り返って～精神科病院の現場から

○林 道彦
医療法人社団うら梅の郷会朝倉記念病院

〔指定発言〕

○佐藤 忠彦

社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院

〈メインコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈サブコーディネーター〉 阿部 恵一郎 あべクリニック

13:15～15:15 シンポジウム20

これからの精神医学に求められるものとは？ ポジティブ精神医学の活用

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
須賀 英道 龍谷大学短期大学部

S20-1 精神的健康の新たなパラダイムー病気(illness)モデルからIllness-Wellbeing Dual Continuum モデルへ

○中川 敦夫

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

S20-2 リカバリーを目指す認知療法がもたらす新たな精神科医療の展望

○耕野 敏樹

岡山県精神科医療センター医局

S20-3 スポーツ・運動とメンタルヘルス –こころの健康に与えるポジティブな影響–

○関崎 亮^{1,2,3}

¹東邦大学、²株式会社Welcometotalk、³学校法人桐丘学園

S20-4 職域におけるポジティブメンタルヘルスの推進

○田中 克俊

北里大学大学院医療系研究科医学専攻産業精神保健学

〔指定発言〕

○大野 裕

大野研究所

〈メインコーディネーター〉 須賀 英道 龍谷大学短期大学部

〈サブコーディネーター〉 大野 裕 大野研究所



15:30~17:30 シンポジウム30

心拍変動自律神経バイオマーカー：工学と精神医学のクロストーク

司会：榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科
松井 岳巳 東京都立大学システムデザイン研究科

S30-1 生体リズム・ゆらぎと精神疾患：心拍変動、皮膚コンダクタンス、脳波を用いた解析

○榛葉 俊一
静岡済生会総合病院精神科

S30-2 生体リズム・ゆらぎの複雑性と臨床的意義

○清野 健
大阪大学大学院基礎工学研究科

S30-3 ウェアラブルモニターによるうつ状態患者を対象とした活動量と心拍変動の同時計測

○功刀 浩^{1,2}、小松 陽子³、篠崎 亮⁴
¹帝京大学医学部精神神経科学講座、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³東洋紡(株)総合研究所快適性工学センター、⁴ユニオンツール(株)開発部

S30-4 レビー小体病における自律神経障害に対する心拍変動の応用：起立性低血圧の発生予測

○角 幸頼、角谷 寛
滋賀医科大学精神医学講座

S30-5 精神負荷に対する自律神経応答を用いた統合失調症・うつ病スクリーニング法の検討

○松井 岳巳
東京都立大学システムデザイン研究科

〈メインコーディネーター〉 榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科

6月22日(木) J会場(パシフィコ横浜ノース 4F G403+G404)

8:30～10:30 シンポジウム6

周産期メンタルヘルス～今後の発展すべき方向性とは～

司会：竹内 崇 東京医科歯科大学病院精神科
渡邊 博幸 学而会木村病院

S6-1 健やかな親子関係を醸成するために

○倉澤 健太郎
横浜市立大学産婦人科

S6-2 ガイドラインから読み解く精神疾患を有する女性の妊娠・出産と向精神薬

○根本 清貴
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

S6-3 子ども虐待に至る親の精神病理 周産期からのアセスメントとマネージメント

○高橋 知久
自衛隊中央病院精神科

S6-4 コンセンサスガイドを起点とした周産期心理療法の発展を願って

○南 房香^{1,2,3}、横山 知加⁴、宮崎 弘美⁵、相川 祐里⁶、榎原 雅代³、雨宮 怜⁷
¹慶應義塾大学病院／慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、
²医療法人和楽会心療内科・神経科赤坂クリニック、³医療法人学而会木村病院、
⁴国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、⁵東京医科歯科大学、
⁶済生会横浜市東部病院、⁷筑波大学体育系

S6-5 周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド改訂版に関連して ～チーム医療から心理職を考える～

○相川 祐里
社会福祉法人恩賜財団神奈川県済生会横浜市東部病院こころのケアセンター心理室

〈メインコーディネーター〉 竹内 崇 東京医科歯科大学病院精神科
〈サブコーディネーター〉 渡邊 博幸 学而会木村病院

10:45～12:45 シンポジウム14

多機能型精神科診療所での外来医療の機能強化と地域包括ケア ～療養生活継続支援加算新設を機会に考える～

司会：三家 英明 医療法人三家クリニック
窪田 彰 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック

S14-1 多機能型精神科診療所での外来医療の機能強化と地域包括ケア

○三家 英明
医療法人三家クリニック



S14-2 地域生活全般に関与する多機能型精神科診療所

○大嶋 正浩
医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ

S14-3 院内多職種協働から広域連携まで一触法行為を繰り返す人への支援

○長谷川 直実
医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

S14-4 開業時から始めるライトな多機能型診療所 –アウトリーチと地域連携の実践–

○大鶴 卓
琉球こころのクリニック

〔指定発言〕

○名雪 和美
厚生労働省社会援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

〈メインコーディネーター〉 三家 英明 医療法人三家クリニック
〈サブコーディネーター〉 窪田 彰 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック

13:15~15:15 委員会シンポジウム13 (認知症委員会)
認知症者の経済的支援

司会：数井 裕光 高知大学医学部神経精神科学講座
森村 安史 一般財団法人仁明会仁明会病院

CS13-1 若年性認知症に対する経済的支援と就労支援

○駒井 由起子
東京都若年性認知症総合支援センター

CS13-2 成年後見制度と認知症

○井藤 佳恵
東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム

CS13-3 認知機能低下が認知症者の経済活動や財産管理能力に与える影響

○松田 修
上智大学総合人間科学部・心理学科

CS13-4 認知症保険の業界動向と医師が注意すべき課題

○内田 隆
株式会社リスクマネジメント・ラボラトリー代表取締役

〈メインコーディネーター〉 数井 裕光 高知大学医学部神経精神科学講座
〈サブコーディネーター〉 井藤 佳恵 東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム

15:30～17:30 シンポジウム31

治療失敗リスクを下げる精神病性障害急性期の治療方略

司会：八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック
杉山 直也 公益財団法人復康会沼津中央病院

S31-1 救急急性期の現場における抗精神病薬選択：
精神科救急医療ガイドライン2022年版から

○八田 耕太郎
順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック

S31-2 抗精神病薬持効性注射製剤の次の課題：ブレイクスルー精神病にどう対応するか？

○嶽北 佳輝
関西医科大学精神神経科

S31-3 やむを得ず開始した抗精神病薬併用をどうするか：ドパミン過感受性精神病の視点から

○伊豫 雅臣^{1,2}
¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、²千葉大学社会精神保健教育研究センター

S31-4 精神病性障害急性期におけるECTの使いどころ

○野田 隆政
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック
〈サブコーディネーター〉 杉山 直也 公益財団法人復康会沼津中央病院



6月22日(木) K会場(パシフィコ横浜ノース 4F G402)

8:30~10:30 シンポジウム7

「精神神経医学」を再考する：精神医学と神経医学のボーダーランド

司会：曾根 大地 東京慈恵会医科大学精神医学講座
品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

S7-1 精神医学と神経医学のボーダーランド：てんかんと精神神経医学

○曾根 大地
東京慈恵会医科大学精神医学講座

S7-2 認知症領域とBPSDにおける精神神経医学

○品川 俊一郎
東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

S7-3 多発性硬化症における高次脳機能障害

○藤盛 寿一
東北医科薬科大学病院脳神経内科

S7-4 神経病理学からみた精神神経医学

○高尾 昌樹
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〔指定発言〕

○兼本 浩祐
愛知医科大学精神神経科精神神経科

〈メインコーディネーター〉 曾根 大地 東京慈恵会医科大学精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科
兼本 浩祐 愛知医科大学精神神経科精神神経科

10:45~12:45 シンポジウム15

自己免疫性疾患/脳炎・脳症と精神症状

司会：神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／茨城県立こころの医療センター
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

S15-1 認知症および様々な神経変性疾患との鑑別を要する自己免疫性脳炎

○田中 恵子^{1,2}、川村 名子¹、崎村 建司¹、阿部 学¹
¹新潟大学脳研究所モデル動物開発分野、²福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座

S15-2 自己免疫性精神病：診断は治療に繋がるか

○高木 学
岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

- S15-3 **自己免疫疾患に伴う精神神経症状について 自己免疫性精神病の観点から**
 ○千葉 悠平¹、阿部 紀絵²、服部 早紀²、伊倉 崇浩²、斎藤 知之⁶、勝瀬 大海²、
 須田 颯²、藤城 弘樹³、高橋 幸利⁴、西野 精治⁵、菱本 明豊²
¹積愛会横浜舞岡病院精神科、²公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科、
³名古屋大学医学部附属病院、⁴静岡てんかん・神経医療センター、
⁵スタンフォード大学医学部精神医学、⁶誠心会よりどころメンタルクリニック横浜西口

- S15-4 **自己免疫性脳炎/脳症と精神科臨床**
 ○筒井 幸^{1,2,3}、大森 佑貴⁴、神林 崇^{5,6}、加藤 倫紀¹、嵯峨 佑史¹、三島 和夫³、
 清水 徹男⁷、加藤 征夫¹、田中 恵子⁸
¹医療法人祐愛会加藤病院精神科、²平鹿総合病院心療センター、³秋田大学医学部附属病院、
⁴東京都健康長寿医療センター、⁵茨城県立こころの医療センター、
⁶筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、⁷秋田県精神保健福祉センター、
⁸新潟大学脳研究所モデル動物開発分野
- 〈メインコーディネーター〉 神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／
 茨城県立こころの医療センター
- 〈サブコーディネーター〉 高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学教室
 来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

13:15～15:15 **シンポジウム21**
依存症調査研究事業の成果紹介

司会：木村 充 国立病院機構久里浜医療センター精神科
 松本 俊彦 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

- S21-1 **薬物事犯者における保護観察対象者のコホート研究～Voice Bridges Project～**
 ○宇佐美 貴士¹、熊倉 陽介²、高野 歩³、金澤 由佳⁴、堤 史織⁵、松本 俊彦⁵
¹北九州市立精神保健福祉センター、²東京大学医学部附属病院、
³東京医科歯科大学大学院精神保健看護学分野、⁴成城大学治療の司法研究センター、
⁵国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

- S21-2 **覚醒剤事犯者の理解とサポート：法務省法務総合研究所との共同研究**
 ○嶋根 卓也¹、高橋 哲^{1,2}、近藤 あゆみ¹、大伴 真理恵³、小林 美智子⁴、秋田 悠希⁵、
 竹下 賀子⁶、松本 俊彦¹
¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、²お茶の水女子大学生活科学部、
³東京拘置所、⁴名古屋矯正管区、⁵法務省法務総合研究所、⁶富山少年鑑別支所

- S21-3 **全国依存症専門医療機関を受診するアルコール依存症の実態UPDATE：
 多施設共同研究による12ヵ月予後調査から**
 ○新田 千枝
 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター臨床研究部

- S21-4 **ギャンブル実態調査～ギャンブル障害の有病率と相談機関における対応について～**
 ○松下 幸生、新田 千枝、柴崎 萌未、西村 光太郎、松崎 尊信、樋口 進
 国立病院機構久里浜医療センター精神科



〔指定発言〕

○樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科

〔指定発言〕

○成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 松下 幸生

国立病院機構久里浜医療センター精神科

〈サブコーディネーター〉 松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
薬物依存研究部

15:30～17:30 **委員会シンポジウム15 (ECT・rTMS等検討委員会)**

rTMS療法の普及に向けた課題

司会：高橋 英彦 東京医科歯科大学病院
水野 雅文 東京都立松沢病院

CS15-1 うつ病に対するrTMS保険診療の実施状況に関するアンケート調査

○高橋 隼¹、野田 賀大²

¹大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

CS15-2 TMS療法関連データベース・レジストリ構築に関する研究での取り組み

○野田 賀大

慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

CS15-3 市販後使用成績調査(PMS)から見てきたわが国のrTMS療法の実態

○中村 元昭^{1,2}

¹昭和大学発達障害医療研究所、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

CS15-4 rTMS適正使用指針の改訂

○鬼頭 伸輔

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

〔指定発言〕

○中田 勝己

厚生労働省保険局医療課

〔指定発言〕

○三村 將

慶應義塾大学精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 鬼頭 伸輔

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

〈サブコーディネーター〉 中村 元昭

昭和大学発達障害医療研究所

野田 賀大

慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

6月22日(木) L会場(パシフィコ横浜ノース 4F G401)

8:30～10:10 **ワークショップ1** (男女共同参画委員会)

精神科診療における男女差を深掘りしてみよう ～疾患における男女差と治療者の男女差について～

司会：平山 太日子 名古屋市精神保健福祉センター精神保健福祉施策推進参与
梅田 寿美代 住友病院メンタルヘルス科

WS1 <講演者> 山田 敦朗 名古屋市立大学病院
榎戸 芙佐子 医療法人社団和敬会谷野呉山病院医局
<メインコーディネーター> 榎戸 芙佐子 医療法人社団和敬会谷野呉山病院医局
<サブコーディネーター> 安川 節子 熊本ファミリーメンタルクリニック

10:45～12:25 **ワークショップ2** (児童精神科医療委員会)

児童精神科医療入門：新シリーズ(6)子どもの精神医学における治療論－技法・その2

司会：松本 英夫 医療法人丹沢病院
岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

WS2 <講演者> 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神科
榎屋 二郎 東京医科大学精神医学分野
中土井 芳弘 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの
医療センター児童精神科
佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部
<メインコーディネーター> 岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
知的・発達障害研究部
<サブコーディネーター> 松本 英夫 医療法人丹沢病院

13:15～14:55 **ワークショップ3** (性別不合に関する委員会)

性別不合/性別違和に対するガイドラインに準拠した診療 ～医療チームと身体的治療適応判定会議の構築～

司会：織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック
今井 伸 総合病院聖隷浜松病院

WS3 <講演者> 織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック
阿部 恵一郎 あべクリニック
今井 伸 総合病院聖隷浜松病院
百澤 明 山梨大学医学部附属病院
<メインコーディネーター> 織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック



15:30～17:10 **ワークショップ4** (司法精神医学委員会)

統合失調症とパーソナリティ障害との鑑別が難しい精神鑑定事例

司会：田口 寿子 神奈川県立精神医療センター
村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神神経科

WS4

〈講演者〉

五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター法
システム研究部門
今井 淳司 東京都立松沢病院
吉岡 真吾 愛知県精神医療センター
柏木 宏子 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター法
システム研究部門

6月22日(木) M会場(パシフィコ横浜ノース 4F G411)

8:30～9:42 一般演題(口演) 1
気分(感情)障害、その他(1)

司会：山内 直人 心の風クリニック千葉

1-01-1 精神科と心療内科の違いが一目で分かる図ー精神科における症状説明の図表ー

○田中 宏明

医療法人誠之会氏家病院精神科心療内科

1-01-2 うつ病患者のリワーク後の就労継続について

○松下 満彦^{1,2}、徳永 雄一郎¹、後藤 玲央²、杉本 浩利¹

¹医療法人新光会不知火病院精神科、²福岡大学医学部精神医学教室

1-01-3 ADHDの特性を併発するうつ病患者に対する認知行動療法の実践

○野田 祥子¹、加藤 典子^{1,2}、片山 奈理子¹、中川 敦夫^{1,3}、三村 将¹

¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、

²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、

³聖マリアンナ医科大学神経精神科

1-01-4 双極性障害に対する短期集団心理教育プログラム参加者の長期的な服薬アドヒアランスに関連する要因について

○岡崎 智行^{1,2}、中津 啓吾¹、浅岡 聡¹、岡村 仁²

¹医療法人社団更生会草津病院、²広島大学大学院医系科学研究科精神機能制御科学研究室

1-01-5 Aripiprazoleによりakathisiaが生じた双極性障害患者にLurasidone追加でうつ状態とアカシジアが改善した例

○井上 悟

医療法人社団優仁会鈴木神経科病院

1-01-6 向精神薬多剤処方に関する診療報酬改定が気分障害患者の処方に与えた影響：DPCデータによる分割時系列解析

○山崎 龍一¹、大邊 寛幸²、松田 勇紀¹、繁田 雅弘¹、鬼頭 伸輔^{1,3}

¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、

²東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学分野、

³国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部



9:42~10:42 一般演題(口演) 3
気分(感情)障害、その他(2)

司会：山本 賢司 東海大学医学部総合診療学系精神科学

1-03-1 受動的データソースによるうつ病スクリーニングのためのデジタルフェノタイピングの比較研究

○呂 天元
東京大学医学系研究科医学博士課程

1-03-2 Effect of duloxetine on plasma VEGF levels in first-episode, drug-naive major depression

○吉村 玲児、岡本 直通、池ノ内 篤子
産業医科大学精神医学

1-03-3 治療抵抗性うつ病における血漿中SITH-1抗体価と抑うつ症状との関連

○小高 文聰¹、山崎 龍一¹、岡 直美²、石井 梓²、石井 洵平¹、松田 勇紀¹、鬼頭 伸輔^{1,3}、近藤 一博²、繁田 雅弘¹
¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、²東京慈恵会医科大学ウイルス学講座、³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

1-03-4 双極性障害における体細胞変異の役割

○西岡 将基^{1,2}、高山 順⁴、酒井 直美^{1,3}、数野 安亜³、石渡 みずほ^{1,3}、林 順子³、早馬 俊⁵、藤井 久彌子⁶、染矢 俊幸⁷、栗山 進一⁴、田宮 元⁴、高田 篤³、加藤 忠史^{1,2,3}
¹順天堂大学・医学部・精神医学講座、²順天堂大学・医学部・気分障害分子病態学講座、³理化学研究所・脳神経科学研究センター、⁴東北大学・東北メディカル・メガバンク機構、⁵医療法人南山会・横浜メンタルクリニック戸塚、⁶滋賀医科大学・医学部・精神医学講座、⁷新潟大学・医学部・精神医学教室

1-03-5 統合失調症スペクトラム障害における網膜異常と精神症状の重症度との関連性：メタ解析による知見

○小松 浩¹、小野口 豪²、矢花 武史³、富田 博秋^{1,2}
¹東北大学病院精神科、²東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、³東北大学医学部眼科学教室

10:45~11:45 一般演題(口演) 5
統合失調症(1)

司会：根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座・社会実装精神医学講座

1-05-1 メタ認知トレーニングの治療効果の複数のメタ解析に対するメタ解析様の比較検討

○宮田 淳¹、田近 亜蘭²、村井 俊哉¹
¹京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室、²京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康要因学講座健康増進・行動学

1-05-2 単科精神科病院におけるリカバリーを目指す認知療法(Recovery-Oriented Cognitive Therapy)普及の取り組み

○耕野 敏樹、佐藤 康治郎
岡山県精神科医療センター医局

1-05-3 統合失調症の社会認知機能障害に対する経頭蓋直流刺激の効果と性差

○山田 悠至¹、末吉 一貴²、横井 優磨³、稲川 拓磨⁴、平林 直次¹、白間 綾²、住吉 太幹²
¹国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、
²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、
³国立精神・神経医療研究センター病院教育研修部、
⁴国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

1-05-4 統合失調症家族心理教育に参加した親のEEと悩みの関係について
—3地域のデータから

○渡部 和成
医療法人崇徳会田宮病院精神科

1-05-5 急性期の統合失調症において、抗精神病薬の短期間の中止は症状を悪化させるか？

○竹内 啓善¹、渡部 恵²
¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²住友ファーマ株式会社・開発本部

11:45～12:45 一般演題（口演）7
統合失調症(2)

司会：木村 大 学而会木村病院

1-07-1 10年以上の長期入院からGH退院に至ったASD合併統合失調症男性の一例

○沖野 慎治
復光会総武病院精神科

1-07-2 ADOS-2による統合失調症と自閉スペクトラム症間の症状評価の検討

○中村 暖、花輪 洋一、岩見 有里子、長塚 雄大、鈴木 洋久、青柳 啓介、佐賀 信之、
音羽 健司、岩波 明
昭和大学附属烏山病院精神科

1-07-3 統合失調症におけるバソプレシン系システムの検討

○山崎 史暁¹、仲田 祐介¹、金原 信久²、宮澤 惇宏³、廣瀬 祐紀¹、小田 靖典¹、
新津 富央¹、伊豫 雅臣¹
¹千葉大学医学部附属病院精神神経科、²千葉大学医学部社会精神保健教育研究センター、
³社会医療法人社団同仁会木更津病院

1-07-4 クロザピン誘発性の薬剤性肺炎による投与中止後に、緩徐増量によりクロザピン
再投与に成功した一例

○菊地 佑樹¹、小松 浩²、佐久間 篤²、谷藤 弘淳³、富田 博秋⁴
¹こだまホスピタル精神科、²東北大学病院精神科、³こだまホスピタル薬剤部、
⁴東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野



1-O7-5 衝動的な過量服薬のためにクロザピンの血中濃度が3108ng/mlという異常高値を示した一例

○木田 直也¹、前田 佑樹¹、村上 優³、中原 辰雄²、橋本 喜次郎²

¹国立病院機構琉球病院精神科、²独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、

³独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

13:15~14:03 専攻医・初期研修医・学部学生演題（口演）1
若手チャレンジ口演（1）

司会：仲田 祐介 千葉大学大学院医学研究院精神医学

1-KO1-1 高齢患者における抗精神病薬持続性注射製剤(LAI)の使用実態

○武井 真人、三澤 史斉

地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院精神科

1-KO1-2 大学病院における「遅発性ジスキネジア」の有病率調査

○亀井 洸介、伊藤 隆仁、藤田 貢平、森 康浩

愛知医科大学精神神経科

1-KO1-3 Clozapineによる劇症肝炎の経験

○福森 崇之、野村 憲一、滝澤 弘規、本村 啓介、佐久間 寛之、村上 優

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター精神科

1-KO1-4 当院における治療抵抗性統合失調症患者71例に対するclozapineの使用の検討

○福森 崇之、石丸 直樹、山下 健、小川 太郎、熊谷 航一郎、下村 拓也、岡田 俊也、

滝澤 弘規、田地 枝理、市村 遥、鈴木 順美、苗田 洋生、浅見 友美子、田村 洋子、

野村 憲一、高橋 有紀子、佐久間 寛之、本村 啓介、村上 優

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター精神科

14:15~15:15 専攻医・初期研修医・学部学生演題（口演）2
若手チャレンジ口演（2）

司会：稲田 健 北里大学医学部精神科学

1-KO2-1 統合失調症の昏迷に対しての治療内容の検討ー昏迷群と非昏迷群の処方内容の違い

○成田 友加里、渡邊 理紗、石田 喬士朗、小黒 早紀、岩田 健

多摩総合医療センター精神科

1-KO2-2 愛媛大学医学部附属病院におけるプロナンセリン経皮吸収型製剤の使用実態調査

○松本 優^{1,2}、河邊 憲太郎²、上野 修一²

¹医療法人十全会十全ユキノキ病院、²愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

1-KO2-3

7施設250名の看護師によるプロナンセリン経皮吸収製剤の印象アンケート調査

○伊藤 隆仁¹、森 康浩¹、藤田 貢平¹、亀井 洸介¹、岩崎 真三²

¹愛知医科大学病院、²医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院

1-KO2-4

緊張病性昏迷を呈した頭部外傷歴を有する統合失調症患者にECTを施行した一例

○石橋 拓実¹、岡本 敦子²、諏訪 太郎³

¹公立豊岡病院組合立豊岡病院精神科、²関西青少年サナトリウム医局、³京都大学医学部附属病院

1-KO2-5

寄生虫妄想を主訴として入院したが、乳癌StageⅣが判明した一例

○清水 梨々花、安藤 久美子、渡邊 亮、古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学病院神経精神科

15:30～17:30 **シンポジウム32**

ビデオ脳波でみるてんかん発作

司会：山田 了士 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター
栗田 紹子 市立稚内病院

S32-1

精神科医が知っておきたい基本的なてんかん発作

○西田 拓司

静岡てんかん・神経医療センター精神科

S32-2

精神症状と鑑別が難しいてんかん

○長谷川 直哉¹、伊藤 陽祐²

¹国立病院機構西新潟中央病院てんかん科、²国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科

S32-3

PNES(心因性非てんかん発作)とPNESに酷似したてんかん発作

○谷口 豪、加藤 英生、大竹 真央、中田 千尋

国立精神・神経医療研究センター病院精神科

〈メインコーディネーター〉 西田 拓司 静岡てんかん・神経医療センター精神科

〈サブコーディネーター〉 谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院精神科



6月22日(木) N会場(パシフィコ横浜ノース 4F G412+G413)

8:30~10:30 委員会シンポジウム4 (親子・学校・女性に関する委員会)
子育てを支える精神医学

司会：立花 良之 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科
平山 哲 大阪母子医療センター子どものこころの診療科

CS4-1 日本の性教育を見つめなおす –性的虐待や若年妊娠の臨床経験から考えること–

○上野 千穂
京都市第二児童福祉センター診療所

CS4-2 親になるための教育–児童精神科の立場から–

○細金 奈奈
恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

CS4-3 流産・死産経験者へのグリーフケア、ピアサポートについて

○岩崎 陽子
医療法人微風会浜寺病院

CS4-4 父親の産後うつ予防と対策

○黒川 駿哉^{1,2}
¹不知火クリニック、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〔指定発言〕

○布施 泰子
茨城大学保健管理センター

〈メインコーディネーター〉 立花 良之 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科

10:45~12:45 委員会シンポジウム8 (医療倫理委員会)
着床前遺伝学的検査をめぐる倫理的課題–精神医学の観点から

司会：中川 伸 山口大学医学部精神科神経科
新村 秀人 大正大学心理社会学部

CS8-1 着床前遺伝学的検査をめぐる精神医学領域の課題

○尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

CS8-2 AYA世代に対する遺伝外来：着床前遺伝学的検査をめぐるクライアントの葛藤と精神科医療のあり方について

○石黒 浩毅^{1,2,3}
¹山梨大学大学院総合研究部医学域臨床遺伝学講座、
²山梨大学大学院総合研究部医学域精神神経医学講座、
³山梨大学医学部附属病院遺伝子疾患診療センター

CS8-3 日本産科婦人科学会から日本精神神経学会へのPGT-Mに関する審査協力依頼について
○佐々木 愛子
国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター

CS8-4 重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査と関連する医療倫理委員会の動向
○石川 博康
島田病院精神科

CS8-5 着床前遺伝学的検査をめぐる昨今の倫理的論点
○稲生 宏泰
東京都立松沢病院精神科

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

13:15～15:15 シンポジウム22

精神科領域における便秘症について考える

司会：水野 雅文 東京都立松沢病院
稲本 淳子 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

S22-1 精神科領域の便秘症の最新知見

○結束 貴臣
国際医療福祉大学成田病院緩和医療科

S22-2 精神科領域における便秘症のエビデンス

○坪井 貴嗣
杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室

S22-3 精神科領域における便秘症：実臨床における便秘症リスク調査より

○山田 浩樹^{1,2}
¹昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、²昭和大学医学部精神医学講座

S22-4 松沢便秘プロジェクト

○長尾 知子
都立松沢病院内科

〔指定発言〕

○小野 正博
福島県立宮下病院

〈メインコーディネーター〉 山田 浩樹 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター
〈サブコーディネーター〉 坪井 貴嗣 杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室



15:30~17:30 シンポジウム33

リカバリーを巡るクロストーク～当事者・メディア・行政・医療の立場から～

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S33-1 リカバリーって、そんなにピカピカなものなの？

○加藤 伸輔^{1,2}

¹ピアサポートグループ在、²認定NPO法人地域精神保健福祉機構(コンボ)

S33-2 当事者が「リカバリー」に託す思い～その思いを支える社会基盤構築についての考察

○小嶋 修一

TBS報道局

S33-3 地域共生社会の実現に向けた精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築とリカバリーの考え方

○戸部 美起

厚生労働省社会・援護局精神・障害保健課

S33-4 医療者の考える精神疾患のリカバリー

○坪井 貴嗣

杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室

〔指定発言〕

○菊地 俊暁

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

6月22日(木) ○会場(パシフィコ横浜ノース 4F G414+G415)

8:30～10:30 委員会シンポジウム5 (ガイドライン検討委員会)

当事者・家族版ガイドの作成過程について

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学
前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神神経科

CS5-1 統合失調症に合併する肥満・糖尿病の予防ガイド

○古郡 規雄¹、菅原 典夫¹、鈴木 雄太郎²、前田 貴記³、井出 由美子⁴、久住 一郎⁵

¹獨協医科大学精神神経医学講座、²新潟大学医歯学総合病院、³慶應義塾大学病院、⁴京都女子大学、⁵北海道大学病院精神科神経科

CS5-2 精神疾患を合併した、或いは合併の可能性のある妊産婦の診療ガイド

当事者・家族版の作成過程について

○鈴木 映二

東北医科薬科大学医学部精神科学教室

CS5-3 診療ガイドライン作成への当事者・家族の参画：期待と課題

○蔭山 正子^{1,2}

¹大阪大学高等共創研究院、²大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学

CS5-4 当事者・家族版ガイドの作成において考えること

○宮岡 等^{1,2}

¹北里大学、²医薬品医療機器総合機構(PMDA)

CS5-5 当事者・家族版作成過程のガイドラインについて

○吉村 公雄

慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

〔指定発言〕

○ゆきこ

子育てピアサポートグループゆらいく

〈メインコーディネーター〉 吉村 公雄

慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

〈サブコーディネーター〉 前田 貴記

慶應義塾大学医学部精神神経科



10:45~12:45 シンポジウム16

電気けいれん療法(ECT)発作増強法の推奨事項

司会：竹林 実 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座
野田 隆政 国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

S16-1 電気けいれん療法における発作誘発困難例と200%機器について
—発作増強法に関する現況調査と文献レビュー—

○諏訪 太郎¹、安田 和幸²、川島 啓嗣¹、青木 宣篤³、内沼 虹衣菜²、嶽北 佳輝³、
和田 健⁴

¹京都大学医学部附属病院精神科神経科、²山梨大学医学部附属病院、³関西医科大学附属病院、
⁴広島市立広島市民病院精神科

S16-2 電気けいれん療法における適切な発作誘発困難時の対応に関するエキスパート
コンセンサス及び推奨事項の作成

○嶽北 佳輝
関西医科大学精神神経科

S16-3 発作増強法におけるエビデンスまとめ(主に麻酔、併用薬など)

○安田 和幸
山梨大学医学部精神神経医学

S16-4 ECTの刺激パラメータ調節による発作増強法

○川島 啓嗣
京都大学医学部附属病院

〈メインコーディネーター〉 竹林 実 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

13:15~15:15 シンポジウム23

統合失調症治療におけるLAIの臨床的意義

司会：根本 豊實 磯ヶ谷病院精神科

S23-1 地域定着における統合失調症に対する抗精神病薬持効性注射剤治療の役割

○木村 大^{1,2,3}
¹学而会木村病院精神科、²国際医療福祉大学医学部精神科、³千葉大学大学院医学研究院精神医学

S23-2 臨床におけるLAIの意義と当院におけるLAIの実施状況について

○竹之内 奈穂
医療法人社団直樹会磯ヶ谷病院

S23-3 持続性注射剤による治療を再考する

○井上 悟
医療法人社団優仁会鈴木神経科病院精神科

〔指定発言〕

○太田 克也

医療法人明柳会恩田第二病院院長

〈メインコーディネーター〉 根本 豊實 磯ヶ谷病院精神科

15:30～17:30 シンポジウム34

脳を見る：統合失調症研究の新展開

司会：糸川 昌成 東京都医学総合研究所病院等連携研究センター
尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

S34-1 脳からみた統合失調症 –過去・現在・未来–

○入谷 修司

桶狭間病院藤田こころケアセンター附属脳研究所

S34-2 統合失調症のMRI研究—代謝疾患モデルとの関連を中心に—

○孫 樹洛

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

S34-3 統合失調症における神経細胞の三次元的な変化

○水谷 隆太¹、雑賀 里乃¹、志賀 楓¹、山本 義郎²、上相 真之³、竹内 晃久³、
上杉 健太郎³、寺田 靖子³、鈴木 芳生⁴、Nikitin, Viktor⁵、De Carlo, Francesco⁵、
竹腰 進⁶、井野元 智恵⁶、中村 直哉⁶、鳥居 洋太⁷、久島 周⁷、尾崎 紀夫⁷、
入谷 修司⁸、大島 健一^{9,10}、糸川 昌成^{9,10}、新井 誠¹⁰

¹東海大学工学部、²東海大学理学部、³高輝度光科学研究センター／SPring-8、

⁴高エネルギー加速器研究機構、⁵Advanced Photon Source, Argonne National Laboratory、

⁶東海大学医学部、⁷名古屋大学大学院医学系研究科、⁸桶狭間病院藤田こころケアセンター、

⁹東京都立松沢病院、¹⁰東京都医学総合研究所

S34-4 ペントシジンの脳内蓄積：蓄積は精神症状の原因か結果か？

○石田 裕昭^{1,2}、大島 健一^{2,3}、宮下 光弘³、永田 栄一郎⁴、糸川 昌成^{1,2}、新井 誠^{1,2}

¹東京都医学総合研究所統合失調症プロジェクト、²東京都立松沢病院、

³東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター、⁴東海大学医学部内科学系脳神経内科

〔指定発言〕

○村井 俊哉

京都大学医学部附属病院

〈メインコーディネーター〉 糸川 昌成 東京都医学総合研究所病院等連携研究センター

〈サブコーディネーター〉 尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学



6月22日(木) P会場(パシフィコ横浜ノース 4F G416+G417)

8:30~10:30 **委員会シンポジウム6** (精神医療・福祉のあり方に関する常任委員会)
日本の精神医療福祉の未来を考える

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
水野 雅文 東京都立松沢病院

CS6-1 急性期治療のあり方検討委員会のこれまでの取り組み

○田口 寿子
神奈川県立精神医療センター

CS6-2 慢性療養者の医療・支援のあり方検討委員会からの報告

○針間 博彦
東京都立松沢病院

CS6-3 地域ケアにおける自立支援のためのアウトリーチ

○藤井 千代
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

CS6-4 精神医療・福祉に関する在り方常任委員会から

○佐久間 啓
社会医療法人あさかホスピタル

〔指定発言〕

○水野 雅文
東京都立松沢病院

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
〈サブコーディネーター〉 水野 雅文 東京都立松沢病院

10:45~12:45 **委員会シンポジウム9** (精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会)
精神科医不足問題について考える：リターンズ

司会：濱田 博文 医療法人純青会せいざん病院医局
稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター

CS9-1 わが国の精神科医数と職域・地域分布について

○稲垣 中^{1,2}
¹青山学院大学教育人間科学部、²青山学院大学保健管理センター

CS9-2 離島における精神科医不足の現状と課題

○濱田 博文
医療法人純青会せいざん病院

CS9-3 離島・僻地におけるオンライン精神科医療の可能性

○木下 翔太郎
慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

CS9-4 離島における精神科医師不足問題：地方行政の立場から

○春日井 基文
鹿児島県精神保健福祉センター

CS9-5 フランスにおける地域精神科医療の現状

○蓮澤 優
九州大学キャンパスライフ・健康支援センター

〔指定発言〕

○中庭 洋一
なかにわメンタルクリニック

〔指定発言〕

○栗田 紹子
市立稚内病院

〈メインコーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部／保健管理センター
〈サブコーディネーター〉 濱田 博文 医療法人純青会せいざん病院医局

13:15～15:15 シンポジウム24

精神科医療にSNSをどう活用するのか –その可能性と課題–

司会：根本 清貴 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学
松崎 朝樹 筑波大学精神神経科

S24-1 精神科医療にSNSをどう活用するのか –その可能性と課題–

○益田 裕介
早稲田メンタルクリニック

S24-2 インターネット上の様々なツールを用いた情報発信について

○大武 陽一^{1,2}
¹たけお内科クリニックからだと心の診療所、²水谷クリニック

S24-3 なぜ？どのように？心理学の情報発信をするのか？

○青木 俊太郎¹、岩野 卓²
¹福島県立医科大学医療人育成・支援センター、²大分大学福祉健康科学部

S24-4 SNSで精神医学的内容を発信する際のあるべき内容について

○松崎 朝樹
筑波大学精神神経科

〈メインコーディネーター〉 根本 清貴 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学
〈サブコーディネーター〉 松崎 朝樹 筑波大学精神神経科



15:30～17:30 **委員会シンポジウム16**（災害支援委員会）

ウクライナ侵攻に関するメンタルヘルス上の諸課題

司会：高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学
重村 淳 目白大学保健医療学部

CS16-1 ロシアによるウクライナ侵攻と核危機：WHOフレームワークからみたメンタルヘルス上の懸念

○前田 正治
福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座

CS16-2 JICAウクライナ避難民に係る緊急人道支援・保健医療分野協力ニーズ調査団の活動から

○久保 達彦
広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学

CS16-3 緊急時における外務省と在外公館職員のメンタルヘルス

○吉田 常孝
外務省外務省診療所

CS16-4 ウクライナ戦争後における在ロシア邦人の不安・抑うつ・心的外傷後ストレス症状

○黒澤 美枝^{1,2}、小室 葉月³、重村 淳²
¹武蔵野大学心理臨床センター、²目白大学保健医療学部、
³帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科

CS16-5 ロシア侵攻下のウクライナにおけるメンタルヘルスの実態

○國井 泰人¹、藤井 進²、日野 瑞城¹、濱家 由美子¹、野中 小百合²、江川 新一³、
栗山 進一⁴、富田 博秋⁵
¹東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、
²東北大学災害科学国際研究所災害医療情報学分野、
³東北大学災害科学国際研究所災害医療国際協力学分野、
⁴東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野、⁵東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〔指定発言〕

○高橋 晶
筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

〈メインコーディネーター〉 重村 淳 目白大学保健医療学部
〈サブコーディネーター〉 高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

6月22日(木) Q会場(パシフィコ横浜ノース 4F G418+G419)

8:30～9:18 地方会優秀演題セッション1 <北海道・東北>

司会：浅見 剛 横浜市立大学医学部精神医学教室

RM1-1 自殺企図患者(未遂者)の家族：企図直後の心理とその推移

○佐野 智章¹、河西 千秋²、煤賀 隆宏³、岩木 敦子²、昌川 安希子²、柏木 智則²、石橋 竜太郎²

¹帯広厚生病院精神科、²札幌医科大学医学部神経精神医学講座、³札幌医科大学附属病院看護部

RM1-2 自殺ハイリスク者に対する第1介入者のAttitude

○柏木 智則¹、津山 雄亮^{1,2}、菅原 夏海¹、橋本 恵理¹、成田 賢治¹、河西 千秋^{1,2}

¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²札幌医科大学保健管理センター

RM1-3 札幌市における救急患者精神科継続支援の実施状況

○石橋 竜太郎¹、伊藤 侯輝²、宇土 仁木³、東谷 敬介²、坪内 雅行³、久住 一郎⁴、河西 千秋¹

¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²市立札幌病院精神科、³北海道医療センター精神科、

⁴北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

RM1-4 長期入院中の統合失調症患者のself-stigmaに関わる臨床要因に関する予備的検討

○尾之内 勇治¹、小松 浩^{1,2}、大野 高志¹、富田 博秋^{2,3}、角藤 芳久¹

¹宮城県立精神医療センター、²東北大学病院精神科、³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

9:18～10:30 一般演題(口演) 4

神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(2)

司会：富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科

1-O4-1 瞑想箱庭療法を用いた一症例

○朝倉 新
医療法人新久会新泉こころのクリニック

1-O4-2 複雑性PTSDの高齢男性に対して持続的曝露療法を行なった一例

○池水 結輝¹、大木 望²、柴田 真太郎³、早津 龍之介⁴、小田 靖典^{1,5}、伊豫 雅臣^{1,5}

¹千葉大学医学部附属病院精神神経科、²医療法人同和会千葉病院、³医療法人社団直樹会磯ヶ谷病院、

⁴国際医療福祉大学成田病院、⁵千葉大学大学院医学研究院精神神経学

1-O4-3 社交不安症に対する認知行動療法の治療反応予測モデルの作成: 機械学習アプローチ

○小川 成^{1,2}
¹名古屋市立大学大学院人間文化研究科、²名古屋市立大学病院



1-04-4 強迫症の治療に抗うつ薬は本当に必要か？

○片岡 優介¹、岡嶋 美代^{1,2}、藤田 観喜¹、藤田 基¹
¹道玄坂ふじたクリニック、²BTCセンター

1-04-5 解離性同一性障害に対する非統合治療の試み

○松原 慎
まっばら心療内科

1-04-6 解離症治療のエキスパート・コンセンサスを日常臨床に活かす

○新谷 宏伸
本庄児玉病院精神科

10:45～12:45 委員会シンポジウム10 (ECT・rTMS等検討委員会)

電気けいれん療法(Electroconvulsive therapy : ECT)の新たな局面

司会：高橋 英彦 東京医科歯科大学病院
中村 満 医療法人社団翠会成増厚生病院

CS10-1 ECTの麻酔管理の変遷

○奥村 正紀
大石記念病院精神科

CS10-2 ECT施行時に筋弛緩薬をスキサメトニウムからロクロニウムに変更した際の麻酔管理

○鈴木 孝浩
日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野

CS10-3 深部静脈血栓症に対する経口抗凝固療法施行中の電気けいれん療法

○平田 卓志
山梨大学医学部附属病院

CS10-4 我が国における精神科病院におけるECTの問題・課題

鮫島 達夫¹、門井 雄司²、奥村 正紀³、○中村 満⁴、大西 良⁵、一瀬 邦弘⁶

¹特定医療法人勇愛会大島病院精神科、²群馬大学医学部附属病院、

³医療法人社団八葉会大石記念病院、⁴医療法人社団翠会成増厚生病院、⁵医療法人水の木会下関病院、

⁶特定医療法人社団聖美会多摩中央病院

〔指定発言〕

○中村 満
医療法人社団翠会成増厚生病院

〈メインコーディネーター〉 鮫島 達夫 特定医療法人勇愛会大島病院精神科

〈サブコーディネーター〉 奥村 正紀 大石記念病院精神科

13:15～14:03 地方会優秀演題セッション2 <東北・北陸・東京>

司会：東 晋二 東京医科大学茨城医療センターメンタルヘルス科

RM2-1 福島第一原子力発電所事故による病院避難を経験した精神科入院患者における避難後の福島への帰還の可否に関連する要因

○本間（照井）稔宏¹、國井 康人²、星野 大¹、各務 竹康³、日高 友郎³、福島 哲仁³、安西 信雄⁴、後藤 大介¹、三浦 至¹、矢部 博興¹

¹福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、²東北大学災害科学国際研究所・災害精神医学分野、³福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座、⁴帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

RM2-2 ロラゼパムが奏効した肺血栓塞栓症を伴った悪性緊張病の一例

○安本 真衣¹、奥田 丈士²、宮岸 良彰²、菊知 充²

¹金沢大学附属病院神経科精神科、²金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学

RM2-3 反復する急性精神病症状を合併する難治性てんかんに対して外科手術を検討・施行した一例

○伊藤 愛¹、谷口 豪²、宮川 希²

¹国立精神・神経医療研究センター第一精神診療部、²国立精神・神経医療研究センターてんかん診療科

RM2-4 クロザピン治療中に反応性低血糖を繰り返した統合失調症の1例

○河合 史彦、清水 直樹、海老原 弘剛、大島 史織、岡井 公志、横山 香、渡邊 さつき、新井 久敏、松岡 孝裕、松尾 幸治

埼玉医科大学病院

14:15～15:15 専攻医・初期研修医・学部学生演題（口演）3
若手チャレンジ口演(3)

司会：木村 敦史 千葉大学大学院医学研究院精神医学

1-KO3-1 解離性同一症の治療として性別違和に介入した一例

○川口 慎吾、白石 直、明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

1-KO3-2 うつ病治療ガイドライン第3章「中等症・重症うつ病」の批判的吟味

○西 若奈、幅田 加以瑛、石橋 知明、大森 一郎、小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学

1-KO3-3 ボルチオキセチンで薬剤性SIADHを生じた高齢うつ病患者の一例

○槻宅 雅史、大舘 孝治、伊藤 司、佐藤 皓平、錦織 光、山下 智子、長濱 道治、岡崎 四方、和氣 玲、稲垣 正俊

島根大学医学部精神医学講座



- 1-KO3-4 多飲水による低ナトリウム血症に横紋筋融解症を合併した統合失調症の1例
○上村 幸正¹、姜 善貴¹、村岡 寛之¹、小川 陽子¹、鈴木 龍太郎^{1,2}、劔持 幸男¹、
 稲田 健¹
¹北里大学病院精神神経科、²北里大学医学部精神科学地域児童精神科医療学

- 1-KO3-5 リチウム内服中に重篤な高ナトリウム血症となり腎性尿崩症と診断された一例
○山田 眞子¹、森田 啓史²、津田 敦²、赤松 正規²、藤戸 良子²、數井 裕光²
¹高知県立あき総合病院、²高知大学医学部附属病院神経精神科学教室

15:30~17:30 シンポジウム35

精神神経分野における若手団体の発展と未来

司会：堀之内 徹 北海道大学病院精神科神経科
大矢 希 京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科

- S35-1 医学界における若手団体の役割と未来：Can the youth change the world?
○曾根 大地
東京慈恵会医科大学精神医学講座

- S35-2 日本若手精神科医の会(JYPO)のこれまでとこれから
○安藝 森央^{1,10}、入來 晃久^{2,10}、大熊 彩子^{3,10}、河岸 嶺将^{4,10}、清水 勇雄^{5,10}、福島 弘之^{6,10}、
 北岡 淳子^{7,10}、宮野 史也^{8,10}、清水 俊宏^{9,10}
¹京都大学大学院医学研究科脳病態生理学教室(精神医学)、
²地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター、³東京大学医学部附属病院、
⁴千葉県精神科医療センター、⁵医療法人恵風会高岡病院、⁶医療法人桜花会醍醐病院、
⁷医療法人せのがわ瀬野川病院、⁸北海道立向陽ヶ丘病院、⁹埼玉県立精神医療センター、
¹⁰認定特定非営利団体日本若手精神科医の会

- S35-3 若手リエゾン精神科医の会(JSOUL)のこれまでの活動と今後の展望
○平山 貴敏
国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科

- S35-4 日本若手てんかん従事者部門(YES-Japan)のこれまでとこれから
○黒田 直生人^{1,2,3}、久保田 隆文^{3,4,5}、藤川 真由^{3,6,7}
¹ウェイン州立大学小児科、²東北大学大学院てんかん学分野、³YES-Japan、
⁴東北大学医学系研究科神経内科学分野、⁵国立病院機構仙台医療センター脳神経内科、
⁶東北大学病院てんかん科、⁷慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

<メインコーディネーター> 曾根 大地 東京慈恵会医科大学精神医学講座
<サブコーディネーター> 堀之内 徹 北海道大学病院精神科神経科
大矢 希 京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科

6月22日(木) R会場(パシフィコ横浜ノース 4F G420)

8:30～9:42 一般演題(口演) 2
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(1)

司会：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

1-O2-1 職場適応における表層状態と深層

○中川 誠秀¹、丹生谷 正史¹、櫻田 久美²、吉村 淳¹、鈴木 映二¹
¹東北医科薬科大学精神科学、²仙台赤十字病院精神科

1-O2-2 自衛官の精神疾患に対するスティグマの調査

○山崎 真之¹、戸田 裕之¹、長峯 正典²、古賀 農人¹、江戸 直樹²、脇 文子²、
北野 誠人²、立森 久照³、吉野 相英¹
¹防衛医科大学校精神科学講座、²防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学部門、
³慶應義塾大学医学部医療システムイノベーション寄附講座

1-O2-3 大学生における抑うつ状態の発症と生活習慣因子の関連：2年間の前向き研究

○降旗 隆二¹、石田 真美²、中神 由香子¹、梁瀬 まや¹、上床 輝久³、岡林 里枝⁴、
清原 康介⁵、川村 孝²
¹京都大学学生総合支援機構、²京都大学医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野、
³京都大学医学部附属病院精神科神経科、⁴京都大学環境安全保健機構、
⁵大妻女子大学家政学部食物学科

1-O2-4 精神科専門研修プログラムにおけるマインドフルネス研修の実践

○本屋敷 美奈^{1,2}、岸本 早苗³、松本 恭典¹、武藤 健太郎¹、井上 猛¹
¹東京医科大学病院メンタルヘルス科、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学分野

1-O2-5 医学生の自閉症様特性と臨床実習中のバーンアウトや抑うつとの関連について

○渡邊 孝文、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

1-O2-6 臨床実習における医学生の燃え尽き軽減のためのアクセプタンス&コミットメント・トレーニング

○渡邊 孝文¹、近藤 真前¹、酒井 美枝²、明智 龍男¹
¹名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、
²名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野



10:45~11:45 一般演題（口演）6
ECT・TMS・ニューロモデュレーション(1)

司会：岩田 正明 鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

1-O6-1 NDB オープンデータに基づく修正型電気痙攣療法(m-ECT)の実態
-Gini係数による都道府県格差の分析-

○花岡 晋平^{1,2}、中西 健太³、深見 悟郎¹、平田 豊明^{1,4}

¹千葉県精神科医療センター、²東邦大学医学部社会医学講座、³医療法人人生生会松蔭病院、

⁴医療法人学而会木村病院

1-O6-2 電気けいれん療法を検討したが、ベンラファキシンへの変薬により改善を得た
高齢者うつ病の2例

○大盛 航、丹京 優衣、増田 慶一、岡本 泰昌

広島大学病院精神科

1-O6-3 ECTにより抗がん剤の治療再開に至った高齢うつ病の2例

○原口 昌明、福原 竜治、塩川 奈理、今村 研介、宇宿 梓、近藤 哲也、佐々木 なつき、
石塚 貴周、中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

1-O6-4 磁気けいれん療法(MST)により寛解した高齢者うつ病の一例

○林 大祐¹、五十嵐 俊¹、山崎 龍一²、松田 勇紀²、松尾 淳子¹、稲川 拓磨¹、川上 裕³、
沖田 恭治¹、藤井 猛¹、野田 隆政¹、住吉 太幹⁴、鬼頭 伸輔^{1,2}

¹国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、²東京慈恵会医科大学精神医学講座、

³国立精神神経・医療研究センター病院麻酔科、

⁴国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

1-O6-5 磁気けいれん療法(MST)から電気けいれん療法(ECT)に切り替えた
高齢者うつ病の一例

○林 大祐¹、五十嵐 俊¹、山崎 龍一²、松田 勇紀²、松尾 淳子¹、稲川 拓磨¹、川上 裕³、
沖田 恭治¹、藤井 猛¹、野田 隆政¹、住吉 太幹⁴、鬼頭 伸輔^{1,2}

¹国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、²東京慈恵会医科大学精神医学講座、

³国立精神神経・医療研究センター病院麻酔科、

⁴国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

11:45~12:45 一般演題（口演）8
ECT・TMS・ニューロモデュレーション(2)

司会：繁田 雅弘 東京慈恵会医科大学精神医学講座

1-O8-1 治療抵抗性うつ病への両側シータバースト刺激療法の両側rTMS療法に対する
無作為化非劣性臨床試験の中間解析

○和田 真孝

慶應義塾大学病院精神・神経科学教室

1-08-2 当院におけるrTMS療法開始後の患者層変化と治療普及のための工夫

○平木 文代、横山 祐子、櫻井 斉司
聖ルチア病院精神科

1-08-3 修正型電気けいれん療法が嚥下機能の改善に寄与したと考えられるレビー小体病の一例

○三原 靖葉¹、長濱 道治³、林 茉衣³、林 真一郎²、正岡 浩³、槻宅 雅史³、伊藤 司³、
佐藤 皓平³、錦織 光³、山下 智子³、河野 公範³、大肚 孝治³、林田 麻衣子³、
岡崎 四方³、和氣 玲³、稲垣 正俊³、安田 英彰¹

¹特定医療法人恵和会石東病院、²鳥根県立こころの医療センター、³鳥根大学医学部精神医学講座

1-08-4 85歳以上の超高齢者に修正型電気けいれん療法を施行した症例の臨床的検討

○竹村 幸洋、榎本 栞、岡田 滋裕、杉田 大輔、荒賀 哲也、松山 賢一、山下 麻希、
渡辺 史恵、吉田 昇生、森 美佳、元木 郁代、宮軒 将
医療法人実風会新生病院精神科

1-08-5 電気けいれん療法後のアジテーション症状についての臨床疫学的研究(中間報告)

○陳 楼¹、渡辺 杏里¹、綾仁 信貴^{1,2}、大矢 希¹、松岡 照之¹、富永 敏行¹、成本 迅¹

¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、

²独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター精神科

13:15～14:27 一般演題(口演) 9

精神科救急及び精神保健福祉

司会：大塚 耕太郎 岩手医科大学

1-09-1 スーパー救急病棟における身体的拘束のリスクとその期間に寄与する因子の検討

○河合 恵太^{1,2}、山田 浩樹^{1,2}、岩波 明²、稲本 淳子^{1,2}

¹昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、²昭和大学医学部精神医学講座

1-09-2 松沢病院における包括的支援マネジメントに関する研究

○岡村 泰¹、荒川 育子²、西 宏隆²、佐藤 さやか³、吉田 光爾⁴、山口 創生³、
藤井 千代³、水野 雅文²

¹東京都立松沢病院横浜市立大学医学部精神医学教室、²東京都立松沢病院、

³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁴東洋大学

1-09-3 単科精神病院での福祉との間における多職種連携の試み

○萩原 聡、山口 義弘、佐藤 京子、川野 ゆかり

医療法人明和会佐藤病院精神科

1-09-4 NDB オープンデータに基づく持効性抗精神病注射製剤(LAI)の使用実態
－Gini係数による都道府県格差の分析－

○中西 健太¹、花岡 晋平^{2,3}、深見 悟郎²、平田 豊明^{2,4}

¹医療法人生会松蔭病院精神科、²千葉県精神科医療センター、

³東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野、⁴医療法人学会木村病院



1-09-5 NDBオープンデータを活用した日本における精神科退院前訪問看護の現状

○菊地 信示郎¹、森内 加奈恵¹、野崎 章子²
¹千葉大学医学部附属病院精神神経科、²千葉大学大学院看護学研究院

1-09-6 NDB オープンデータに基づく精神科在宅患者支援管理料算定数の実態
—Gini係数による都道府県格差の分析—

○高橋 由美子¹、花岡 晋平^{1,2}、中西 健太⁴、瀧地 典夫¹、安田 貴子¹、澁谷 孝之¹、
深見 悟郎¹、平田 豊明^{1,3}
¹千葉県精神科医療センター、²東邦大学医学部社会医学講座、³医療法人学而会木村病院、
⁴医療法人生会松蔭病院

15:30～17:30 委員会シンポジウム17 (男女共同参画委員会)

COVID-19のパンデミックが日本の女性と子供のメンタルヘルスに及ぼした影響：弱者・ジェンダの視点から

司会：加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニックメンタルケア科PCIT研修センター
布施 泰子 茨城大学保健管理センター

CS17-1 コロナ禍であぶりだされた女性のメンタルヘルスにかかる問題

○加茂 登志子
若松町こころとひふのクリニックメンタルケア科PCIT研修センター

CS17-2 COVID-19パンデミックがメンタルヘルスに及ぼす影響：
デジタルサポート導入の試み

○奥山 純子^{1,2}、門廻 充侍⁴、本川 智紀³、加藤 朋美³
¹東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科、²指定国立大災害科学世界トップレベル研究拠点、
³ポーラ化成工業株式会社、⁴東北大学災害科学国際研究所

CS17-3 長期化するCOVID-19パンデミックによりひき起こされた職業性ストレスと
女性のメンタルヘルスについて

○阪上 優
京都大学環境安全保健機構産業厚生部門

CS17-4 COVID-19のパンデミック下における日本女性の自殺の増加

○布施 泰子
茨城大学保健管理センター

CS17-5 COVID-19が子どもに与えた長期的影響とは何か

○安藤 久美子
聖マリアンナ医科大学病院

〈メインコーディネーター〉 布施 泰子 茨城大学保健管理センター
〈サブコーディネーター〉 加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニックメンタルケア科
PCIT 研修センター
安藤 久美子 聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

6月22日(木) ポスター会場(パシフィコ横浜ノース 1F G1～G4)

11:45～12:17 関連学会優秀演題ポスター1

日本統合失調症学会・日本臨床精神神経薬理学会

司会：笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学教室

RS1-1

Cortical structural mega-analysis across four major psychiatric disorders in 5432 individuals

○Junya Matsumoto¹、Masaki Fukunaga²、Kenichiro Miura¹、Kiyotaka Nemoto³、Naohiro Okada^{4,5}、Naoki Hashimoto⁶、Kentaro Morita⁷、Daisuke Koshiyama⁴、Kazutaka Ohi^{8,9}、Tsutomu Takahashi^{10,11}、Koeda Michihiko¹²、Hidenaga Yamamori^{1,13,14}、Michiko Fujimoto^{1,13}、Yuka Yasuda^{1,15}、Naomi Hasegawa¹、Hisashi Narita⁶、Satoshi Yokoyama¹⁶、Ryo Mishima¹⁷、Takahiko Kawashima¹⁷、Yuko Kobayashi¹⁷、Daiki Sasabayashi^{10,11}、Kenichiro Harada¹⁸、Maeri Yamamoto¹⁹、Yoji Hirano²⁰、Takashi Itahashi²¹、Masahito Nakataki²²、Ryu-ichiro Hashimoto^{21,23}、Khin K. Tha²⁴、Shinsuke Koike^{5,25,26,27}、Toshio Matsubara¹⁸、Go Okada¹⁶、Reiji Yohimura²⁸、Osamu Abe²⁹、Toshiaki Onitsuka³⁰、Yoshiyuki Watanabe³¹、Koji Matsuo³²、Hidenori Yamasue³³、Yasumasa Okamoto¹⁶、Michio Suzuki^{10,11}、Norio Ozaki¹⁹、Kiyoto Kasai^{4,5,25,26}、Ryota Hashimoto^{1,13}

¹Department of Pathology of Mental Diseases, National Institute of Mental Health, National Center of

Neurology and Psychiatry, ²Division of Cerebral Integration, National Institute for Physiological Sciences,

³Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, University of Tsukuba,

⁴Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo,

⁵The International Research Center for Neurointelligence (WPI-IRCN), The University of Tokyo Institutes for

Advanced Study (UTIAS), ⁶Department of Psychiatry, Hokkaido University Graduate School of Medicine,

⁷Department of Rehabilitation, University of Tokyo Hospital,

⁸Department of Psychiatry, Gifu University Graduate School of Medicine,

⁹Department of General Internal Medicine, Kanazawa Medical University,

¹⁰Department of Neuropsychiatry, University of Toyama Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences,

¹¹Research Center for Idling Brain Science, University of Toyama,

¹²Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School,

¹³Department of Psychiatry, Osaka University, Graduate School of Medicine,

¹⁴Japan Community Health Care Organization Osaka Hospital, ¹⁵Medical Corporation Foster,

¹⁶Department of Psychiatry and Neurosciences, Hiroshima University,

¹⁷Department of Psychiatry, Graduate School of Medicine, Kyoto University,

¹⁸Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine,

¹⁹Department of Psychiatry, Nagoya University, Graduate School of Medicine,

²⁰Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University,

²¹Medical Institute of Developmental Disabilities Research, Showa University,

²²Department of Psychiatry, Tokushima University Hospital,

²³Department of Language Sciences, Graduate School of Humanities, Tokyo Metropolitan University,

²⁴Department of Radiation Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine,

²⁵University of Tokyo Institute for Diversity & Adaptation of Human Mind (UTIDAHM),

²⁶UTokyo Center for Integrative Science of Human Behavior (CiSHuB), The University of Tokyo,

²⁷Center for Evolutionary Cognitive Sciences, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo,

²⁸Department of Psychiatry, University of Occupational and Environmental Health,

²⁹Department of Radiology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo,

³⁰Department of Neuroimaging Psychiatry, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University,

³¹Department of Radiology, Shiga University of Medical Science,



³²Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Saitama Medical University、

³³Department of Psychiatry, Hamamatsu University School of Medicine

RS1-2

多施設共同研究による統合失調症と双極性障害の大脳皮質構造画像解析

○松本 純弥¹、福永 雅喜²、三浦 健一郎¹、岡田 直大^{3,4}、根本 清貴⁵、藤本 美智子^{1,6}、
肥田 道彦⁷、宮田 淳⁸、大井 一高⁹、中瀧 理仁¹⁰、吉村 玲児¹¹、岡本 泰昌¹²、
原田 健一郎¹³、橋本 直樹¹⁴、鬼塚 俊明¹⁵、山本 真江里¹⁶、山末 英典^{3,17}、高橋 努¹⁸、
渡邊 嘉之¹⁹、笠井 清登^{3,4}、橋本 亮太^{1,8}

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

²生理学研究所システム脳科学研究領域心理生理学研究部門、

³東京大学大学院医学系研究科精神医学分野、

⁴東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構、⁵筑波大学医学医療系精神医学、

⁶大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、⁷日本医科大学医学部大学院精神・行動医学分野、

⁸京都大学大学院医学研究科精神医学教室、⁹岐阜大学医学部附属病院精神科、

¹⁰徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、¹¹産業医科大学医学部精神医学、

¹²広島大学大学院医歯薬保健学研究科精神神経科学、

¹³山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、¹⁴北海道大学大学院医学研究院精神医学教室、

¹⁵九州大学大学院医学研究院神経画像解析学講座、

¹⁶名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野、¹⁷浜松医科大学精神医学講座、

¹⁸富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、¹⁹滋賀医科大学放射線医学講座

RS1-3

遅発性ジスキネジアと持効性抗精神病薬注射製剤：

副作用自発報告データベースを用いた解析

○三澤 史斉¹、藤井 康男¹、竹内 啓善^{1,2}

¹山梨県立北病院、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

RS1-4

治療抵抗性統合失調症患者におけるクロザピンへの暴露と副作用との関連についての包括的評価：母集団薬物動態解析

○野村 信行^{1,2,3}、北川 航平⁴、宋 龍平⁴、三澤 史斉³、児玉 匡史⁴、竹内 啓善²、
Robert Bies⁵、Thomas Straubinger⁵、Christopher Banker⁵、水野 裕也^{2,6}、三村 將²、
内田 裕之²

¹ミュンヘン工科大学、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、³山梨県立北病院、

⁴岡山県精神科医療センター、⁵ニューヨーク州立大学バッファロー校、

⁶キングス・カレッジ・ロンドン

RS1-5

札幌医科大学附属病院高度救命救急センターに搬送された自殺企図事例の実態

○古俣 皓涼¹、石橋 竜太郎¹、佐野 智章^{1,2}、大江 開^{1,3}、津山 雄亮⁴、岩木 敦子¹、
昌川 安希子¹、柏木 智則¹、石井 貴男¹、河西 千秋¹

¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²帯広厚生病院精神科、³北見赤十字病院神経精神科、

⁴札幌医科大学保険管理センター

13:15～14:10 一般演題（ポスター）1

アルコール・作用物質関連

司会：忽滑谷 和孝 東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科

1-P1-1

令和3年度の栃木県立岡本台病院でのアルコール依存症の初診患者の外来継続に与える要因について

○市川 貴一、増井 晃、天野 託、伊集院 将、織田 裕美子
栃木県立岡本台病院

1-P1-2

神戸大学医学部附属病院におけるギャンブル障害専門外来の実態調査

○山木 愛久、江口 典臣、青山 慎介
神戸大学医学部附属病院精神科神経科

1-P1-3

精神科病院での入院加療を要する窃視症の1例

○萩倉 祥一、佐藤 明信、佐藤 寛一
医療法人和合会和合病院精神科

1-P1-4

本邦における境界性パーソナリティ障害(BPD)の診断と治療に関する横断研究－医師コホート調査結果

○池田 暁史¹、白波瀬 丈一郎²、井合 真海子³、遊佐 安一郎⁴、阪本 亘⁵、吉田 慎哉⁵、牛島 定信⁶

¹大正大学心理社会学部臨床心理学科、²東京都済生会中央病院、³早稲田大学、

⁴長谷川メンタルヘルス研究所、⁵日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、

⁶市ヶ谷ひもろぎクリニック

1-P1-5

低用量ベンゾジアゼピン系薬の中断で離脱せん妄をきたし、ベンゾジアゼピン系薬のみで速やかに改善した一例

○酒井 良江¹、柳澤 奈々美¹、三浦 元太郎¹、藤井 浩之¹、木崎 英介¹、富田 真幸¹、竹内 啓善²

¹大泉病院精神科、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

1-P1-6

ベンゾジアゼピン受容体作動薬中止後にカタトニアとせん妄を来した一例

○北元 健、沖村 宰、花岡 昭、堀 達
長谷川病院精神科



13:15~14:10 一般演題（ポスター）2
気分(感情)障害(1)

司会：戸田 裕之 防衛医科大学校精神科学講座

1-P2-1 うつ病に対するボルチオキセチンの実臨床における安全性、有効性に関する多施設後方視コホート研究

○中村 倫之¹、富田 克²、逸見 竜次¹、高瀬 文敬¹、沈 龍佑³、広田 進⁴、上松 謙⁵、小鳥居 望⁶、小曾根 基裕¹

¹久留米大学病院精神神経科、²楡の木クリニック、³しん漢方心療クリニック、⁴広田クリニック、⁵うえまつメンタルクリニック、⁶医療法人仁祐会小鳥居謙早病院

1-P2-2 80歳以上の高齢うつ病患者に対する抗うつ薬療法の有効性、忍容性に関する検討—第2報—

○皆尾 望、木村 彩乃、竹林地 郁、李大賢、川下 芳雄、和田 健
地方独立行政法人広島市立広島市民病院精神科

1-P2-3 うつ病患者における免疫学的グルテン感受性と精神・身体症状の関連性

○本山 美久仁、山田 恒、前林 憲誠、吉村 知穂、松永 寿人
兵庫医科大学精神科神経科学講座

1-P2-4 抗うつ薬の使用と脂質異常症の発症リスク：日本の大規模データベースを用いたコホート研究

○吉沢 和久、竹島 正浩、三島 和夫
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

1-P2-5 演題取り下げ

13:15~14:10 一般演題（ポスター）3
AI・社会精神医学・自殺予防

司会：田所 重紀 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

1-P3-1 自然言語処理を使った現病歴からの精神疾患の診断予測

○大塚 紀朗¹、川西 悠¹、土居 史磨¹、竹田 奨¹、奥村 和生¹、山内 崇平¹、矢田 竣太郎²、若宮 翔子²、荒牧 英治²、牧之段 学¹

¹奈良県立医科大学精神医療センター、²奈良先端科学技術大学院大学

1-P3-2 ひきこもり傾向に関連する心理的特性社会的孤立・孤独に関するオンラインアンケート調査結果より

○翠川 晴彦¹、相羽 美幸²、古村 健太郎³、櫛引 夏歩⁴、菅原 大地⁵、川上 直秋⁵、白鳥 裕貴⁶、太刀川 弘和⁴

¹筑波大学附属病院精神神経科、²東洋学園大学人間科学部、³弘前大学人文社会科学部、⁴筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、⁵筑波大学人間系心理学域、⁶筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

1-P3-3 **デイケア利用者が遠隔操作型ロボットに抱く信頼感に影響を与える条件について比較検討したので報告する**

○冠地 信和¹、熊崎 博一¹、今村 明¹、小澤 寛樹¹、谷口 大輔²、塚崎 稔²、吉川 雄一郎³、石黒 浩³、馬場 惇⁴、村山 真一⁵

¹長崎大学病院精神科、²医療法人清潮会三和中央病院、³大阪大学大学院基礎工学研究科、⁴株式会社サイバーエージェント、⁵琉球大学医学部

1-P3-4 **自殺再企図防止のための救急患者精神科継続支援研修会(オンライン開催)の効果について**

山田 光彦¹、○川島 義高^{1,2}、川島 友子¹

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部、²明治大学文学部心理社会学臨床心理学専攻

1-P3-5 **検案要請書の情報に基づく自殺者の精神科受診に寄与する因子の検討**

○村上 龍¹、上久保 敦^{1,2}、守岡 大吾¹、皆藤 竜弥¹、高橋 司¹、黒木 尚長^{2,3}

¹明治国際医療大学保健医療学部救急救命学科、²大阪府監察医事務所、³千葉科学大学危機管理学部保健医療学科

13:15～14:10 **一般演題 (ポスター) 4**
コンサルテーションリエゾン・睡眠障害(1)

司会：小池 香 成田赤十字病院精神神経科

1-P4-1 **身体疾患加療中の不眠に対して使用された睡眠導入剤とせん妄発生に関する後方視研究**

○逸見 竜次、高瀬 文敬、増本 政也、中村 倫之、小曾根 基裕
久留米大学病院神経精神医学講座

1-P4-2 **入院患者における睡眠薬処方の推移と院内インシデント発生の推移について**

○中澤 太郎、大橋 綾子、畑部 暢三、小原 知之、中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

1-P4-3 **睡眠薬の長期処方に対する診療報酬改定と新規睡眠薬の効果**

○竹島 正浩、吉沢 和久、小笠原 正弥、伊藤 結生、三島 和夫
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

1-P4-4 **佐賀大学医学部附属病院におけるせん妄患者への処方の変遷**

○村川 徹¹、友成 央¹、松島 淳¹、祖川 倫太郎²、川崎 美紀子²、深井 アイリ¹、高田 拳¹、平野 正貴¹、永浜 千賀¹、大石 絢子¹、菊地 潤¹、小嶋 亮平¹、立石 洋¹、國武 裕¹、溝口 義人¹、門司 晃¹

¹佐賀大学医学部精神医学講座、²佐賀大学医学部附属病院



1-P4-5 救命救急センターで人工呼吸管理を要する重症患者に対するsuvorexantと
lemborexantのせん妄予防効果の検証

○松岡 綾華¹、祖川 倫太郎²、村川 徹³、溝口 義人³、門司 晃^{3,4}、島ノ江 千里²、
品田 公太¹、小網 博之¹、阪本 雄一郎¹

¹佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター、²佐賀大学医学部附属病院薬剤部、
³佐賀大学医学部精神神経学講座、⁴医療法人慈光会若久病院

1-P4-6 短時間作用型睡眠薬使用時の睡眠随伴症状の異常行動発現の頻度について

○齋藤 晴紀¹、山口 裕太郎¹、菅沼 慶¹、山本 憲²、坂寄 健²、野上 毅²、下田 健吾¹、
館野 周²

¹日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、²日本医科大学付属病院

14:15～15:00 一般演題（ポスター）5
高齢期精神障害

司会：齋藤 正範 帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科

1-P5-1 アルツハイマー型認知症に合併したうつ病に対して修正電気痙攣療法が
有効であった一例

○鈴木 伸哉^{1,3}、塩田 勝利²、津田 眞珠子²、高山 剛^{2,3}、須田 史朗²

¹自治医科大学精神医学講座、²自治医科大学附属病院精神科、³上都賀総合病院

1-P5-2 一般精神科棟より精神科救急病棟で認知症患者を入院させた方が入院期間、
身体拘束率などが減少する

○宮軒 将、榎本 栞、岡田 滋裕、荒賀 哲也、松山 賢一、山下 麻希、杉田 大輔、
渡辺 史恵、吉田 昇生、森 美佳、元木 郁代、竹村 幸洋

新生病院精神科

1-P5-3 ポケット嗅覚識別テストを用いた外来高齢者の3年間の経過

○佐藤 守^{1,2}、森田 喜一郎^{2,3}、山下 裕之^{1,2}、児玉 英也^{1,2,4}、吉本 幸治²、小路 純央^{1,2}

¹久留米大学病院神経精神医学講座、²久留米大学高次脳疾患研究所、

³特定医療法人社団相和会中村病院、⁴医療法人社団芳英会宮の陣病院

1-P5-4 前頭側頭型認知症様失語を合併したレビー小体型認知症の一例

○大関 彬子^{1,2}、辻 知紘¹、岩城 弘隆²、柞木田 なつみ²

¹八戸市立市民病院臨床研修センター、²八戸市立市民病院精神神経科

14:15～15:00 一般演題（ポスター）6

ADHD及び神経画像、神経生理

司会：金原 信久 千葉大学社会精神保健教育研究センター

1-P6-1 角回血流低下を認め自我障害を呈したearly psychosisの3例

○吉川 茜、小畑 洋平、垣内 千尋、加藤 忠史
順天堂大学医学部精神医学講座

1-P6-2 貧血を伴わない鉄欠乏症を併発した全般不安症の一例

○江畑 琢矢、井原 裕、中根 えりな
獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科

1-P6-3 曜日別のADHDプログラム参加者の比較

○中村 善文^{1,2}、中村 暖^{1,2}、佐賀 信之^{1,2}、太田 晴久^{1,2}、水野 健²、横井 英樹²、
五十嵐 美紀²、今井 美穂²、岩波 明^{1,2}

¹昭和大学附属烏山病院昭和大学医学部精神医学教室、²昭和大学附属烏山病院

1-P6-4 昭和大学附属烏山病院ADHD専門外来におけるグアンファシンの成人への治療効果について、更なる評価を交えて

○鈴木 洋久^{1,2}、林 若穂^{1,2}、中村 暖^{1,2}、花輪 洋一^{1,2}、宇野 宏光^{1,2}、岩見 有里子^{1,2}、
長塚 雄大^{1,2}、音羽 健司^{1,2}、真田 建史^{1,2}、岩波 明^{1,2}

¹昭和大学附属烏山病院、²昭和大学医学部精神医学講座

1-P6-5 マウスにおけるメチルフェニデート作用へのL-DOPA受容体GPR143の関与

○内村 放、金井 香央里、井上 美優、増川 大輝、五嶋 良郎
横浜市立大学大学院医学研究科分子薬理神経生物学

14:15～15:00 一般演題（ポスター）7

発達障害及び摂食障害

司会：宮川 晃一 順天堂大学医学部附属浦安病院メンタルクリニック

1-P7-1 肥満恐怖のない神経性やせ症についての試論－反射形成からヒステリーの成立へ－

○稲川 優多、西依 康、安田 学、岡田 剛史、志賀 順一、渡邊 亮介、高崎 創太、
手塚 未希、小林 聡幸、須田 史朗
自治医科大学附属病院精神医学講座

1-P7-2 下痢を伴う低体重の摂食障害患者における免疫学的グルテン感受性に関する予備的研究

○山田 恒、本山 美久仁、前林 憲誠、吉村 知穂、松永 寿人
兵庫医科大学精神科神経科学講座



1-P7-3

自閉スペクトラム症に回避・制限性食物摂取症が合併した2症例

○大平 洋明、吉田 佳奈、後田 眞樹、久保 浩明、船橋 英樹、石田 康
宮崎大学医学部附属病院精神科

1-P7-4

侵襲的手段をとる10代自殺企図者には、自閉スペクトラム症者が多い

近藤 忠一¹、五明 佐也香^{1,3}、○齊間 草平¹、中根 えりな¹、江畑 琢矢¹、赤松 直哉¹、
尾形 広行¹、松島 久雄^{2,3}、井原 裕^{1,2}

¹獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科、

²獨協医科大学埼玉医療センター救命救急センター、³獨協医科大学埼玉医療センター救急医療科

1-P7-5

児童自閉スペクトラム症におけるさまざまな精神症状に対するアリピプラゾールの効果検討：ケーススタディ

○早津 龍之介、石井 宏樹、佐藤 愛子、木村 大、橋本 佐、中里 道子
国際医療福祉大学成田病院精神科

15:30~16:10 **専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）1**
認知症・器質性障害等

司会：伊藤 賢伸 順天堂大学医学部精神医学講座

1-KP1-1

初期意味性認知症と診断された60代後半男性に対する疾患の特性を活用したケア

○赤羽 彩、菅原 一晃、鈴木 洋平、瀬下 翔也、古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学病院神経精神科

1-KP1-2

演題取り下げ

1-KP1-3

内側側頭葉てんかんの精神症状に薬剤調整が著効した一例

○高木 英俊¹、横塚 紗永子¹、窪田 真明¹、天田 大輔²、篠山 大明¹、福山 哲広³、
北原 明彦⁴、鷲塚 伸介¹

¹信州大学医学部附属病院精神科、²横浜市総合リハビリテーションセンター、

³信州大学医学部附属病院小児科、⁴北原メンタルクリニック

1-KP1-4

精神疾患と血清蛋白質との関係

○日浦 悠斗、中村 勇基、末吉 利成、辻 利佳子、羽岡 健史、寺尾 敦、菊池 章
浦和神経サナトリウム精神科

1-KP1-5

双極性障害・統合失調症におけるミトコンドリアDNA変異の一分子解析

○大谷 紘揮^{1,2}、加藤 忠史^{1,3}、西岡 将基^{1,3,4}

¹順天堂大学医学部精神医学講座、²成仁病院、³順天堂大学医学部気分障害分子病態学講座、

⁴理化学研究所脳神経科学研究センター

15:30～16:10 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）2
統合失調症等（1）

司会：澁谷 孝之 千葉県精神科医療センター診療科

1-KP2-1 脊髄小脳変性症3型を合併した統合失調症の1例

○植村 哲也¹、金子 宜之¹、上村 宗平¹、小嶋 悠太¹、小宮 志の¹、趙 純玉¹、
大槻 怜¹、村田 沙樹子¹、斎藤 かおり¹、金森 正¹、溝口 知孝²、秋元 高義²、
中嶋 秀人²、鈴木 正泰¹

¹日本大学医学部精神医学系精神医学分野、²日本大学医学部内科学系神経内科学分野

1-KP2-2 精神病性障害患者における三年間の第一世代抗精神病薬の処方率変化

○森 啓輔、小高 文聰、小林 珠代、酒井 祥行、亀山 洋、山崎 龍一、石井 洵平、
繁田 雅弘

東京慈恵会医科大学精神医学講座

1-KP2-3 治療抵抗性統合失調症の陽性症状に対して電気けいれん療法が効果を示した1例

○野村 海里¹、渡邊 奈保子^{1,2}、持田 拓昌¹、渡邊 雅子¹、櫻井 準^{1,2}、片桐 健志^{1,2}、
青鹿 由紀³、坪井 貴嗣^{1,2}、渡邊 衡一郎^{1,2}

¹杏林大学医学部付属病院精神神経科、²杏林大学医学部精神神経科学教室、

³杏林大学医学部付属病院看護部

1-KP2-4 緊張病に対する修正型電気けいれん療法施行後に遅発性発作からてんかん重積に
移行した1症例

○津田 崇登、蓬萊 政、木村 敦、新名 尚史、山木 愛久、青山 慎介

神戸大学医学部附属病院

1-KP2-5 当院精神科救急病棟の身体拘束患者における深部静脈血栓症の後方視的調査

○玉井 大地、北元 健、堀 達

長谷川病院精神科

16:30～17:20 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）3
統合失調症等（2）

司会：根本 豊實 磯ヶ谷病院

1-KP3-1 持効性注射剤の治療転帰と中断後治療内容の調査

○松田 京介、橋本 伸彦

医療法人資生会八事病院

1-KP3-2 中等度知的障害を合併した統合失調症患者における病的多飲水に対して、イラスト
を用いた指導が奏功した一例

○盛野 弘法、蒔田 郁人、井上 千華、白井 豊、細見 和代、白川 治

湊川病院精神科医局



- 1-KP3-3 水中毒患者における横紋筋融解症の発症に関与する要因の後方視的研究
○小田 哲朗、三上 克央、木本 啓太郎、渡邊 己弦、石山 雄一、高世 駿也、山本 賢司
東海大学医学部附属病院精神科
- 1-KP3-4 逆行性射精を呈したクロザピン投与患者の1例
○造酒 慶喬、渡邊 真治、高橋 正洋、山田 尚登
上林記念病院精神科
- 1-KP3-5 薬剤性好酸球性肺炎を呈したが、Clozapine を継続投与/再増量が可能であった治療抵抗性統合失調症の一例
○田中 優樹^{1,2}、嶽北 佳輝¹、青木 宣篤¹、杉江 拓也²、木下 利彦¹
¹関西医科大学精神神経科学講座、²医療法人仁康会小泉病院

16:30~17:20 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）4
初期臨床研修医ポスター演題

司会：青木 勉 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院神経精神科

- 1-KP4-1 強迫行為が発症や再発に関連していた直腸脱の1症例
○藤原 翔太郎、岡村 泰、阪下 和美、和氣 仁美、多田 雅典、水野 雅文
東京都立松沢病院
- 1-KP4-2 緊急措置入院時のスクリーニング検査の有用性
○藤原 翔太郎、石田 琢人、水野 雅文
東京都立松沢病院
- 1-KP4-3 松沢病院入院中に死亡した患者の死因分析
○目黒 雄大、石田 琢人、水野 雅文
東京都立松沢病院
- 1-KP4-4 うつ病への抗うつ剤内服治療にてセロトニン症候群を発症したがパニック障害の合併と判断されていた一例
○横濱 堯、黒沢 顕三、鈴木 健太郎
地域医療機能推進機構東京新宿メディカルセンター
- 1-KP4-5 札幌医科大学附属病院高度救命救急センターに搬送された自殺企図患者の特徴と予後
○加藤 紘幹、石橋 竜太郎、佐野 智章、大江 開、津山 雄亮、昌川 安希子、柏木 智則、河西 千秋
札幌医科大学医学部神経精神医学講座
- 1-KP4-6 Pure autonomic failureで発症した約16年後に認知機能低下を呈したレビー小体型認知症
○佐藤 晃敏、鶴飼 克行
総合上飯田第一病院